昭和44年12月23日第３種郵便物認可昭和48年４月１日発行毎月１回１日発行

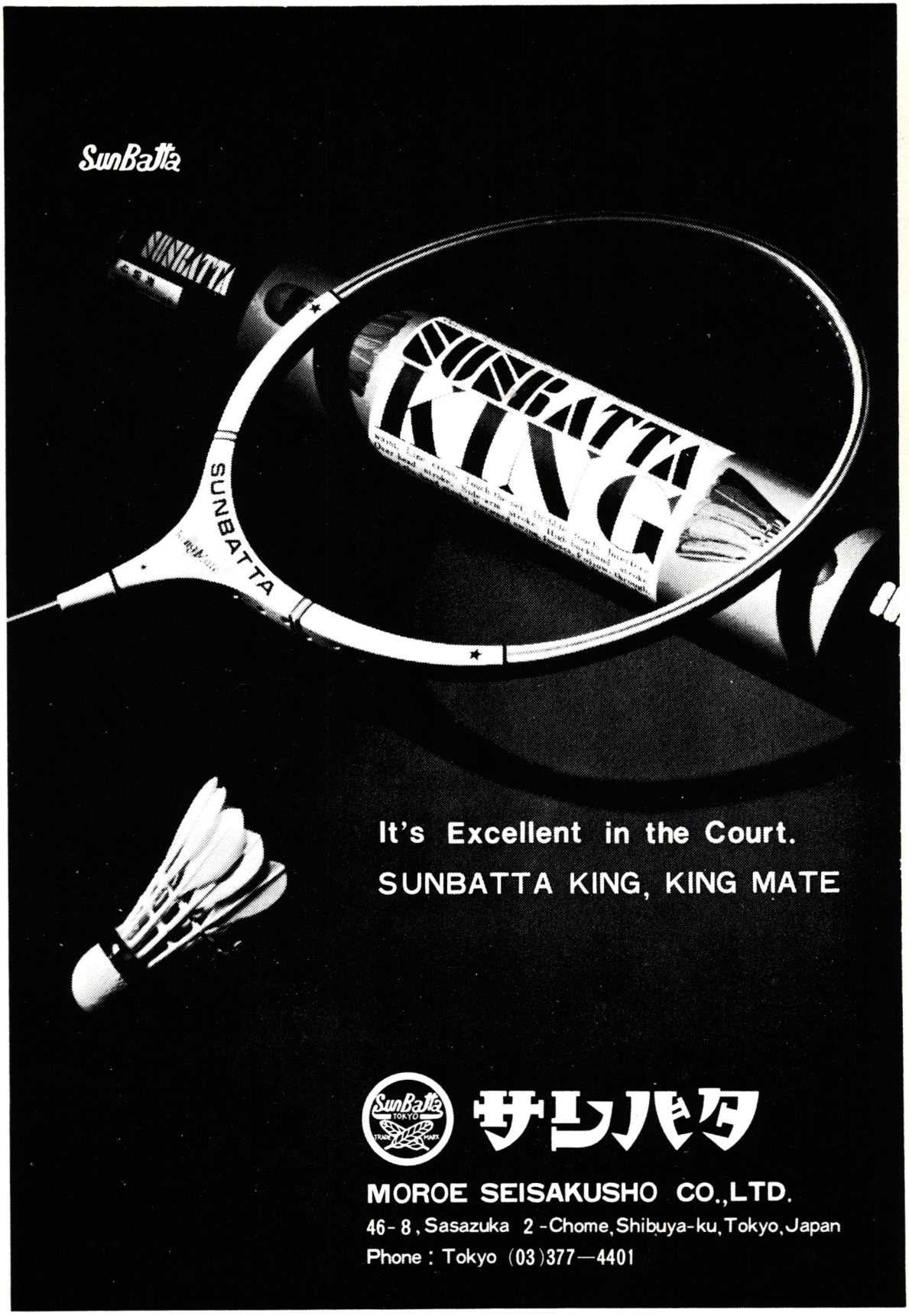
日本バドミントン協会

バドミントン界

THE BADMINTON WORLD

42 APRIL,1973




SunBatta
SUNBATTA
SUNBATTA KING
SUNBATTA
It's Excellent in the Court.
SUNBATTA KING, KING MATE
SunBatta TOKYO TRADE MARK
サンバタ
MOROE SEISAKUSHO CO.,LTD.
46-8, Sasazuka 2-Chome, Shibuya-ku, Tokyo, Japan
Phone : Tokyo (03)377—4401

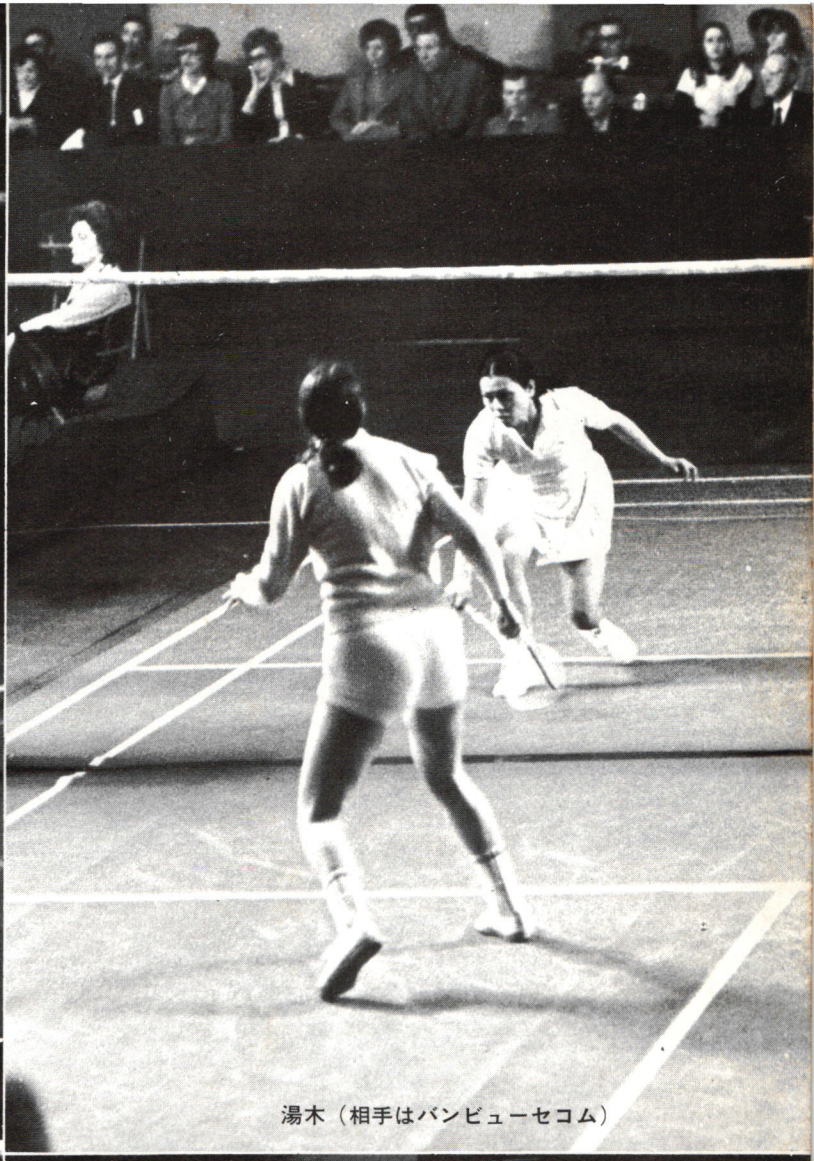
相沢・竹中組，輝く２連勝

全英選手権熱戦譜

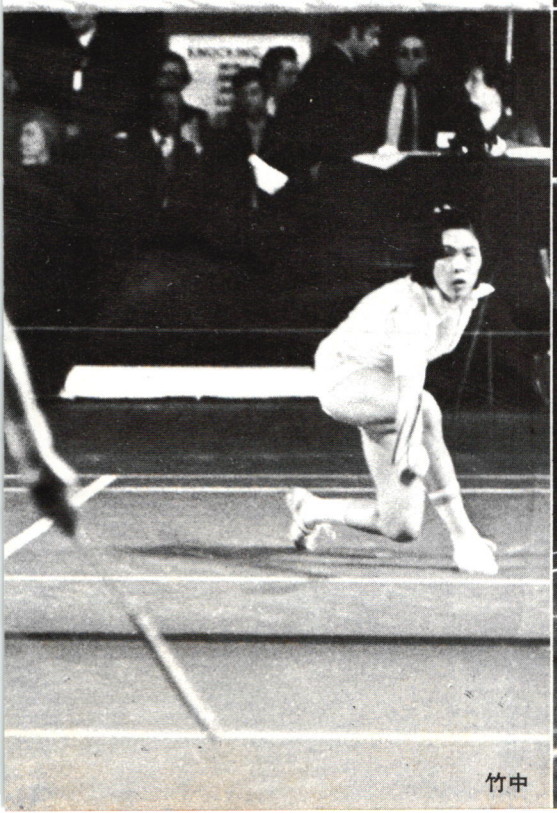




ギルクス（英）



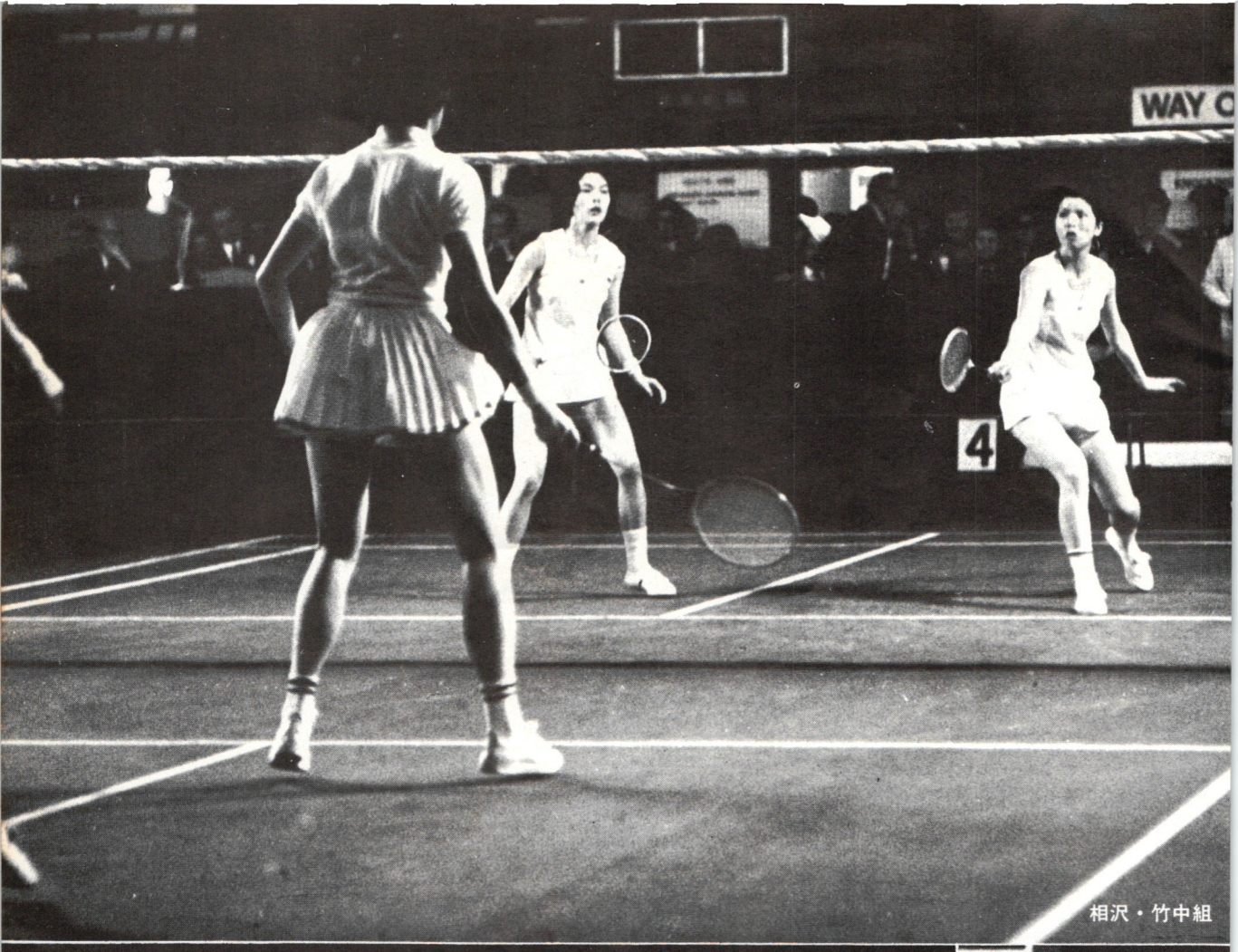
湯木（相手はバンビューセコム）



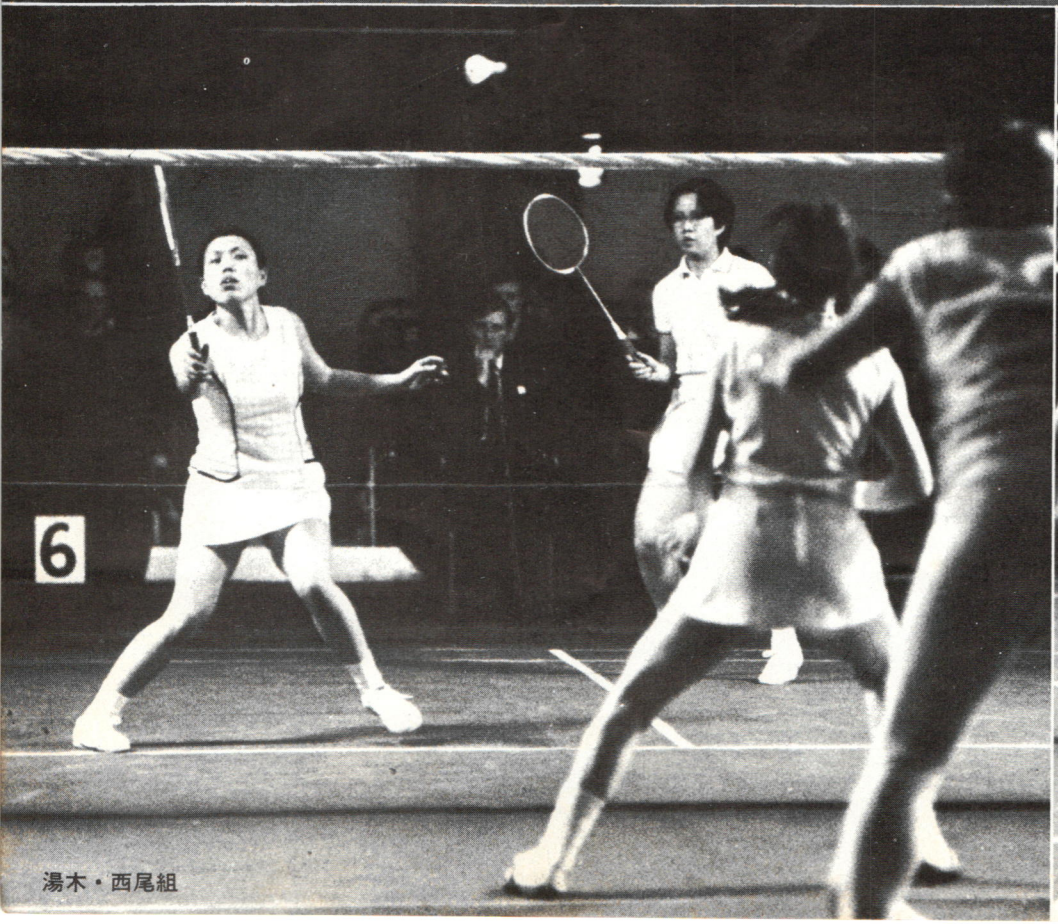
竹中



ボクソール（左）ウェトナール組（英国）



相沢・竹中組

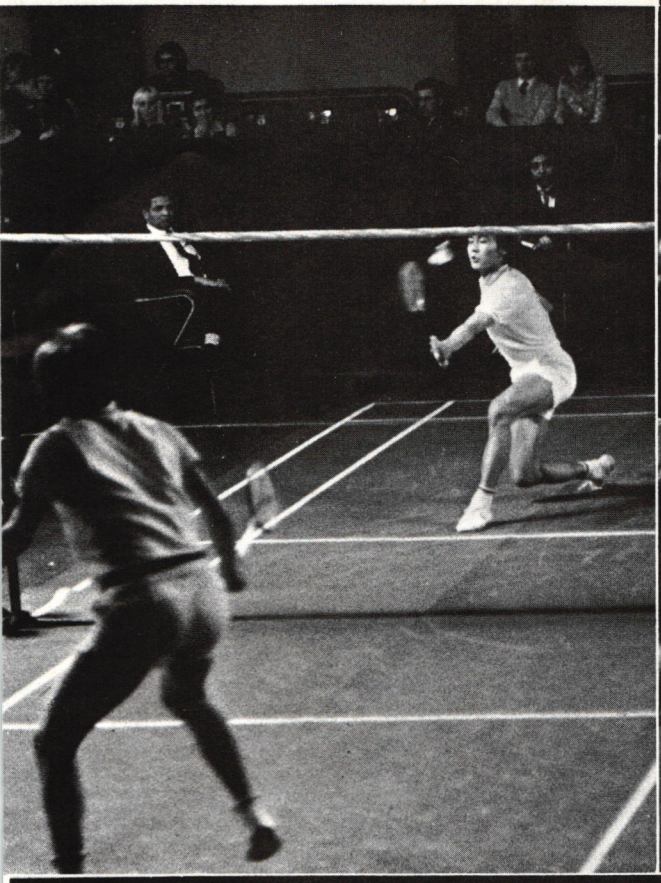


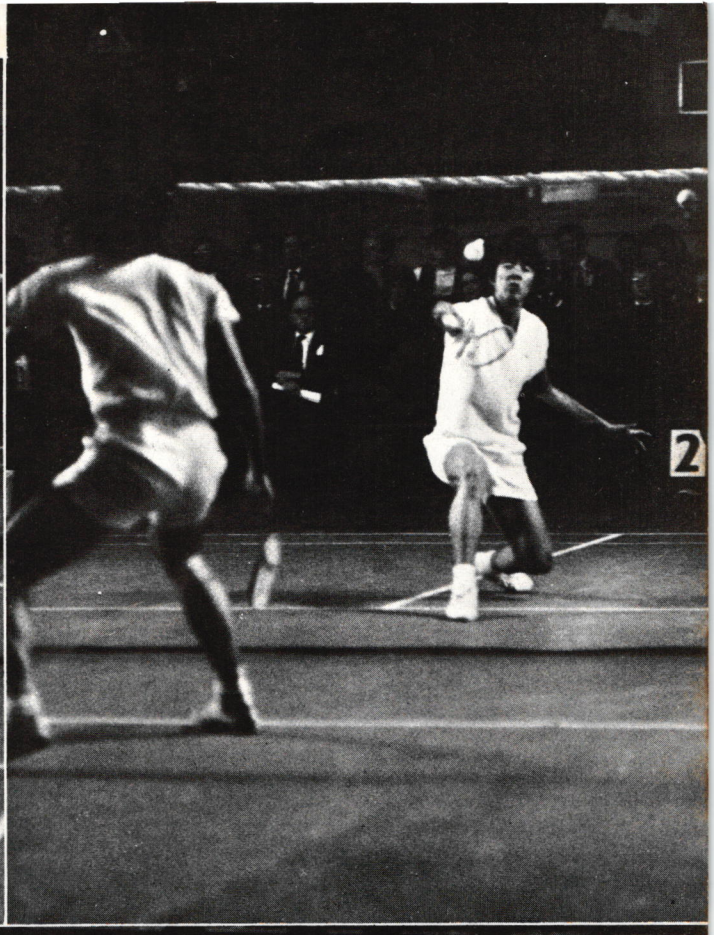
湯木・西尾組

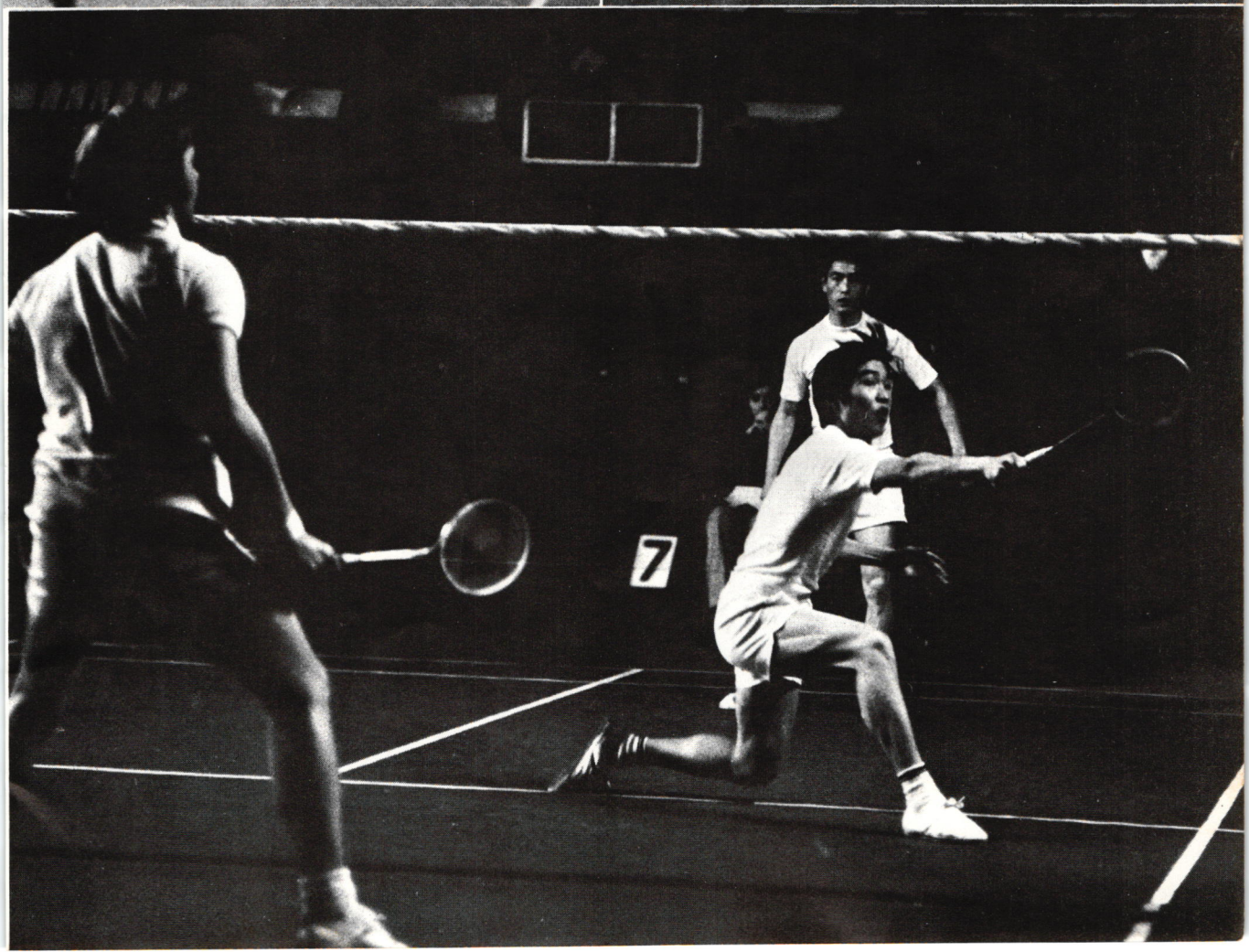


▼本間

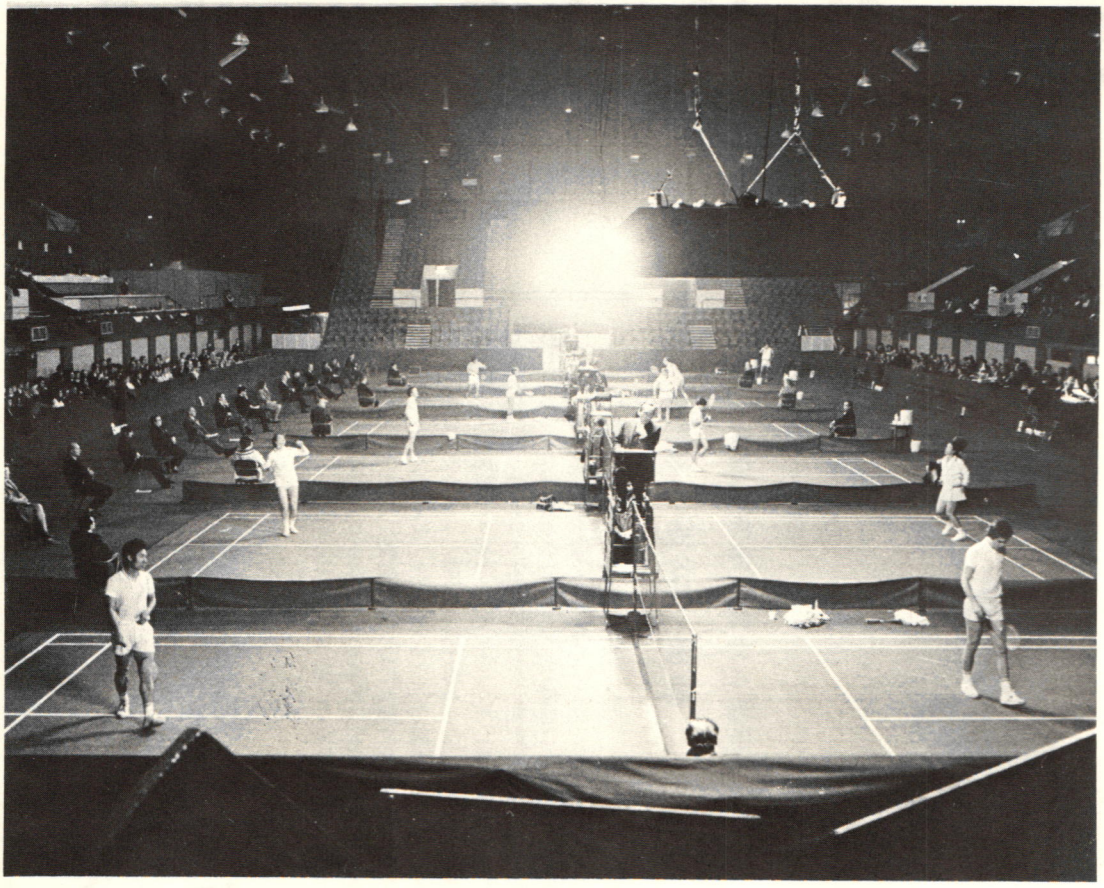
ハルトノ▶







六面のコートをフルに使った全英選手権大会の熱戦



バドミントン界

〈48年4月号〉

【特集】海外遠征レポート

・復活した〝世界ペア〟全英に輝く2連勝……6
・2連勝をふり返って〈手記〉……13
・湯木、女王の座を確保〈デンマーク選手権〉……8
・欧州勢、アジアを軽く突き放す〈エジンバラ招待〉……12
・初代表に男女四選手……7
・欧州遠征日記……7～11
・広く厳しい世界に目を開く〈手記〉……9
・日本選手の大会関係分成績詳報……12～13

☆写真グラフ
・全英選手権熱戦譜……1
・旅は道づれ、遠征雑感集……37
☆シリーズ人間　私が国産第1号をつくった……18
☆あなたは全部正解？――審判講習会テスト50問……14
☆百万人のバドミントン上達法
・スマッシュのすべて〈不可欠の三要素〉……22
☆協会の動き
・小宮氏が新理事長に……26
・新年度予算〝倍増〟……27
☆北から南から
・遠藤は電電北海道へ――選手の進学、就職先……28
・8割が「知っている」茨城国体開催地・石岡市の調査……29
・アフリカに劣る日本の若者の体力……30
大会運営規定100問集……16
今月のことば……36
レコード……36
次号予告、編集室……36

スタッフ／表紙撮影・松井亮麿／同製作・小浜正道／グラフ写真・フォートキシモト、派遣選手団／その他写真・山田真市、学連／イラスト・秦　浩／編集・明本薫／庶務・柏木葉子／協力・日本協会事務局、各加盟団体、愛読者

海外遠征レポート

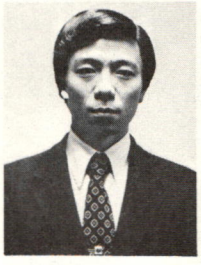
ペア”復活

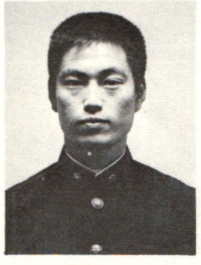
全英に輝く2連勝

日本選手で初　半年の低迷破る

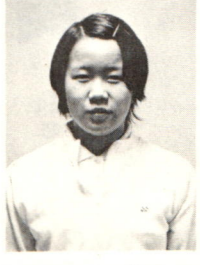
相沢・竹中のペアが全英選手権で輝く2連勝を飾り〝バドミントン大国〟日本の声価を死守した――国際シーズン幕あけの海外遠征に、日本はことし初参加四人をふくむ男女各四選手を送った。予定された航空機が航空会社のストのため、出発が若干遅れ、西独での大会には間に合わなかったが、例年どおり、全デンマーク、全英の二大選手権に参加した。期待された女子は、まずデンマークで湯木がシングルスに優勝し、第一人者の貫録を発揮した。相沢・竹中のダブルスは初戦に敗れ去り、前途多難を思わせた。しかし、全英でこのペアはみごとに立ち直り、決勝ではベック、ギルクス夫人組（英国）をフルゲームのすえくだして王座を確保した。シングルスの湯木は準決勝でギルクス夫人に敗れ、六九年大会につぐ二度目の栄冠は逸した。相沢・竹中組は2連勝で、昨年のユ杯戦終了後から続いていた〝低迷〟をよく脱却した。全英で日本の女子ダブルス優勝は七一年の高木（現中山）湯木組以来で、三年連続の快挙。同一選手（またはペア）の連勝は日本選手で初めて。これで日本女子は六九年以来、五年連続して単複いずれかの王座を獲得したことになる。男子に対する〝世界のカベ〟は厚く、デンマークでの本間・今泉組のベスト8が最高だった。

今泉、遠藤、銭谷、西尾
遠征初代表に男女4選手


今泉　勉

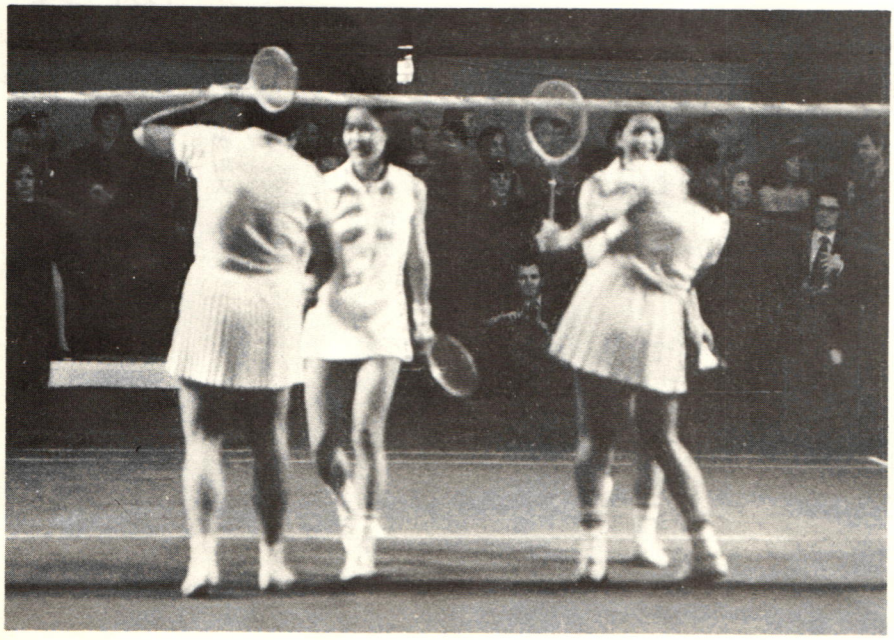

遠藤好男


銭谷欽次


西尾真理子

今回の遠征メンバーは男女各4選手。まず「勝つこと」と同時に「若手に機会を与える」という二つの目的をポイントに選考された。このため、まず女子ではシングルスの第一人者・湯木（カワサキ）とダブルスの全英選手権者・相沢、竹中（ヨネヤマ）が決定。男子では第一人者・小島が家庭のつごうで辞退したため、本間（トヨタ自工）が決まった。ついで、これら選手に続く若手を選び、女子では新人の代表格として西尾真理子（日体大一年＝当時、以下同）が決定。男子では卜杯のダブルスで本間とコンビを組んだ今泉勉（高岡市役所）学生チャンピオン遠藤好男（日大四年）と銭谷欽治（中大二年）が決定。

相沢・竹中“世界



日本選手のおもな成績

○デンマーク選手権
▽男子シングルス
本間順次＝三回戦進出
銭谷欽治＝三回戦進出
▽男子ダブルス
本間・今泉＝準々決勝進出
▽女子シングルス
湯木博江＝優勝
竹中悦子＝準決勝進出
▽女子ダブルス
湯木・西尾＝準決勝進出
○全英選手権
▽男子シングルス
本間順次＝三回戦進出
▽男子ダブルス
本間・今泉、銭谷・遠藤＝ともに三回戦進出
▽女子シングルス
竹中悦子＝準々決勝進出
湯木博江＝準決勝進出
▽女子ダブルス
相沢・竹中＝優勝



本誌読者にはおなじみの〝遠征旅日記〟をお届けする。例によって、作者不明のところがミソだが、よく読めば、恐らく推察がつくはず。毎年、キャリアを積んでいるはずなのに、書かれてあることは、相変らず、食べもののことばかり、進歩がない!?

3月9日（金）

選手八名、絶大なる見送りを受け、それぞれの決心を秘めてコペンめざして機上の人に。

3月10日（土）

午前6時、18時間の旅を終えると毎年ながら朝早くにもかかわらず、協会のクリステンセンそれにカーリン（注・ジョーゲンセン）が鼻を赤くして出迎えてくれる。

午後2時、さっそくカーリンに練習を頼むと「日本チームはいつも練習、練習！」と皮肉まじりにOKしてもらい、KBK（注・クラブの名）で練習。彼女たちのクラブだそうです。パパ、ママ、子供達が気楽にバドを楽しんでいる。

3月11日（日）

すばらしく空が晴れて、青さが目にしみる。遠藤君が感嘆まじりに「きょうは日本晴れだなあ…」一同、返す言葉もなくてとうとうエンちゃんは遠藤周作ならぬ遠藤ケッ作（コリアン先

湯木〝女王の座〟を確保

デンマーク選手権　男子本間組ベスト8へ

デンマーク選手権大会は三月十二日から十五日までコペンハーゲンで行なわれた。女子シングルスは湯木が準決勝で竹中を倒したあと、イムレ・ニールセン（デンマーク）を破り優勝。ダブルスは相沢・竹中組が姿を消したあと湯木・西尾組も準決勝で敗退、オランダの新鋭バンビューセコム、リュースケン組が王座を占めた。

男子の日本勢はダブルスで本間・今泉組が準々決勝に進んだのが最もよい成績。単複ともにインドネシア勢が強く、シングルスはルディ・ハルトノが優勝、ダブルスも同士打ちのすえチュンチュン、ワジュディ組が世界NO1のクリスチャン、チャンドラ組にせり勝った。

◇男子シングルス

▽準々決勝

プリ（デ） 15—3 15—3 ローゼ（デ）

デルフス（デ） 15—11 15—9 カンナ（印度）

E・ハンセン（デ） 15—6 14—17 15—12 S・ジョンソン（ス）

ハルトノ（イン） 15—11 12—15 15—8 ボショウ（西独）

▽準決勝

フレミング・デルフス 15—5 15—8 スベンド・プリ

ルディ・ハルトノ 15—6 15—8 エーロ・ハンセン

▽決勝

ルディ・ハルトノ 17—14 15—12 フレミング・デルフス

◇男子ダブルス

▽準々決勝

チャンドラ、クリスチャン（イン） 18—15 15—11 ワルスー、ハンセン（デ）

フレマン、キルシュトルム（ス） 15—9 15—12 本間　順次
今泉　勉

プリ、ペテルセン（デ） 5—15 15—11 15—13 スチュアート、タルボット（英）

チュンチュン、ワジュディ（イン） 15—6 15—4 コプス、カガード（デ）

▽準決勝

チャンドラ、クリスチャン 15—4 15—9 フレマン、キルシュトルム

チュンチュン、ワジュディ 15—2 15—5 プリ、ペテルセン

▽決勝

チュンチュン、ワジュディ 15—8 15—4 チャンドラ、クリスチャン

◇女子シングルス

▽準々決勝

湯木　博江 12—11 11—9 オブライエン（カナ）

竹中　悦子 12—10 11—3 コーペン（デ）

I・ニールセン（デ） 2—11 11—9 11—3 ツェドベリ（ス）

ウタミ（イン） 12—10 11—3 バンビューセコム（オ）

生）となる。どうも今回の立役者はコリアン先生のようです。

正午。日曜日なのでアマリエンボーにある王室の衛兵の交替を見学する人で、広場はいっぱい。日本人がいやに目につく。音楽隊がサービスに〝夜のストレンジャー〟を演奏。女王がすぐそばをお通り…ポワーン！人形の像にしがみついて写真を撮った男性軍。ただし女王はソッポを向きっぱなし。

午後4時、KBK対GBKのクラブ対抗決勝戦、かろうじてカーリン達のKBKが優勝。

日本チームの練習風景をTVが撮影。皆ひと汗もふた汗もかいた感じ。アップに耐えられたかな？

同行された京都の川本さん具合が悪く、デンマークへ来て三日目にしてとうとう帰国。

●デンマークは税金が30％、国の保障制度が進んでいるからといって、甘いものじゃない。失業手当と給料があまり変わらないということだ。そのために若者は直面目に働くことがバカらしいという考え方。はつらつとした若さがなく、退廃しているという話です。

3月12日（月）

いよいよ、きょうからデンマーク選手権。

朝、ランニングの途中でとてもかわいいチワワが二匹、グリーンのおそろいのチョッキを着て、お散歩しているのです。だれかを思い出しませんか？そうです、ベンさんこと今泉さん。どっちが本家かわからないくらい、お互いに似てるんです。

今までにネコ、ベン、ゴルゲンなどと多数の芸名を持っていた彼、またまた、その人気ゆえに愛称が増えてしまいました。

3月13日（火）

朝の散歩に出かけると、水面に薄い氷が張り出していて、その上には、本当に数え切れないくらいのカモメやオシドリの夫婦や白鳥や、はてはハトまでが仲間に入って、たわむれたり、水浴びをしたり。そのひとつひとつのしぐさをじっと見ていると、とてもかわいくって……。

エンちゃん、ランニング中に犬に追いかけられ、そのはずじゃなかったのにダッシュ!!

●デンマークは以前、アラブパキスタン人の逃亡を援助してのが災いして、その人達がグループをつくり、悪事を働くという。恩をアダで返すとは、このことですね。

3月14日（水）

ホテルの朝食はパンとコーヒ

▽準決勝

湯木　博江　11－8　9－11　11－0　竹中　悦子

イムレ・ニールセン　11－2　11－2　11－2　ウタミ・デビ

▽決　勝

湯木　博江　11－7　11－6　イムレ・ニールセン

◇女子ダブルス

▽準々決勝

湯木　博江　13－15　15－5　15－8　ブリストル　ヘイルズ（米）

西尾真理子

▽準決勝

ジョーゲンセン、ストランド（デ）　10－15　18－17　15－7　クリスチャンセン、カガード（デ）

バンビューセコム、リユースケン（オラ）　15－2　15－8　I・ニールセン、コーペン（デ）

ジャイルスガードナー（英）　16－17　15－8　15－3　オブライエン（カ）　ベケット（ア）

▽準決勝

ジョーゲンセン、ストランド　17－15　8－15　15－8　湯木　博江

バンビューセコム、リユースケン　15－2　15－5　ジャイルスガードナー

西尾真理子

▽決　勝

バンビューセコム、リユースケン　17－15　17－15　ジョーゲンセン、ストランド

◇混合ダブルス

▽準決勝

タルボットガードナー（英）　15－1　15－10　ワルスーカガード（デ）

E・ハンセン、ストランド（デ）　15－8　9－15　15－8　メイワルトステデン（西独）

▽決　勝

E・ハンセン、ストランド　15－4　？　タルボットガードナー

"広く厳しい"世界に目を開く

痛感したコンディション作りの大切さ

西尾真理子

三月九日から三十日までの約二十日間のヨーロッパ遠征は、とっても貴重な体験となりました。新しく学んだことも、改めて考えさせられたことも数多くありますが、その中で一番、心に残ったのは、どの試合においても、自分のコンディションを大切にしなければならない、という点でした。そして、世界は広く厳しいということでした。

全デンマーク戦の出場者は、全英の前のコンディション作りといったような感じがしました。そして、日本では見られないショットや戦法もたくさんあり、世界は広いんだなあと感じずにいられませんでした。

全英では、一回戦からギルクスに当たり、体育館の広さや高さになじめないうちに負けてしまいました。ギルクスの緊張感がからだ中から伝わってくるようでした。全英の舞台の張りつめた空気は、忘れていたバドミントンのすばらしさを教えてくれました。そして、たった三回だったけれど、全英のあのコートで試合したことは、とっても貴重な経験だと思います。

試合終了後の第二の目的であった交交際と観光も、思っていたより満足でき、コペンハーゲン、ロンドン、パリ、ローマはとってもすばらしく、去りがたく感じるほどでした。

このような貴重な体験が出来ましたのも、皆様方のお陰と心から感謝しております。

新しい目標を持って、本年もがんばりたいと思います。どうか今後ともよろしくご指導お願い致します。

ーと卵料理（ちょっとだけよ）

それで足りぬ人達は、やっと見つけてきたインスタント・ラーメンにお湯を注いでパックして「3分待つのだぞ」。それがなんともジーンとくるのです。

いつもお世話下さるフジテリヤの佐野さん宅へ招待され、生れて初めてキツツキなるものを見ました。

小柳ルミ子のレコードを聞いて歌う。

3月15日（木）

そろそろ日本の味が恋しくなってきた。中華レストランに行っても、ヌードル・スープを二人前頼む人がいて、ボーイさん人数を確かめに来る。

マリちゃん（注、西尾）いつもは10時間ぐらい眠るというのに、夜遅くまでの試合は辛いとみえ、更衣室で仮眠してがんばっています。

コリアン先生の「疲れたーっ！」が流行しだしました。

キンちゃんことキンジ君（注銭谷）の「なんだびゃー！」もたたいまヒット中。これは石川県大聖寺のことばでしょうか!?

3月16日（金）

15時20分、エジンバラ（英）に向けて出発。

エジンバラの街も古く、遠い昔の大英帝国をしのばせるには十分なくらいの建物があちこちに見られます。

レセプションの時、RSLのおじさん、真っ赤な顔（いつもそうなのです）をして、ベンさんに聞きました。

「なんで疲れた目をしているんだ？」「The morning after night before デス」!?

3月17日（土）

国際女子の時、来日したオランダのヨーケ。マリちゃんに、「西尾、ジンフィーズは？」この前、ジュースのつもりで一息に飲んで、すぐコテンと眠ってしまったゆえ…

シャワー室から出てきたコリアン先生、水といっしょに、ほおを伝わるものが"I can't understand English!"

3月18日（日）

いよいよロンドンへ乗り込みキンジ君、パスポートを飛行機の中に忘れてしまう。またまたユキさん大奮闘。

ホテルへの車の中でユキさん重大発言「早く帰って、あの人に会いたいわあー」とてもとても心のこもった一言なのです。

ステーキハウスで久しぶりにお腹いっぱい。デンマークではさっぱりだったコンブ（注、相

ALL-ENGLAND BADMINTON CHAMPIONSHIPS

第63回　全英選手権大会

ハルトノ史上初の単6連勝

インドネシア強し　複も連続クリスチャン組

全英選手権大会（第63回）は三月二十一日から二十四日までロンドン郊外のウェンブレー・コートで行なわれた。

男子は単複を通じインドネシアが強く、シングルス・ベスト4に3人を送った。また単複とも決勝は同士打ちだった。シングルスはルディ・ハルトノがクリスチャンにストレート勝ちし史上初の6連勝をとげた。同一選手の優勝回数では男子単コプス（デンマーク）6度、女子単ハシュマン夫人（米―英）9度混合複ストランド夫人（デンマーク）7度があるが、連勝は6が全種目を通じて最高である。ダブルスはクリスチャン組が二連勝した。

女子シングルスは湯木がギルクス夫人（英）に準決勝で敗れ決勝は英国勢の同士打ち。マーガレット・ベックがギルクス夫人を押えて初優勝。ダブルスでプロから復帰のボクソール、ウエトナル組（英）は準々決勝で相沢・竹中組に敗れた。

◇男子シングルス

▽準々決勝

ハルトノ（イン）15―2, 18―17 E・ハンセン（デ）

チュンチュン（イン）15―13, 15―7 S・ジョンソン（スウ）

クリスチャン（イン）15―6, 15―4 カガード（デ）

プリ（デ）17―15, 15―2 キルシュトルム（スウ）

▽準決勝

ルディ・ハルトノ 15―7, 15―1 チュンチュン

クリスチャン 15―7, 6―15, 15―13 プリ

▽決　勝

ルディ・ハルトノ 15―4, 15―2 クリスチャン

◇男子ダブルス

▽準決勝

チュンチュン、ワジディ（イン）18―13, 18―14 バッカー、ペテルセン（デ）

グナワン、スジャナ（イン）17―16, 15―11 E・ハンセン、ワルス（デ）

スチュアート、タルボット（英）15―2, 15―2 ジャイエンラタヌソン（タイ）

クリスチャン、チャンドラ（イン）15―12, 15―4 エディ、サットン（英）

▽準決勝

チュンチュン、ワジディ 15―2, 17―15 グナワン、スジャナ

クリスチャン、チャンドラ 15―4, 18―13 スチュアート、タルボット

▽決　勝

クリスチャン、チャンドラ 15―1, 15―7 チュンチュン、ワジディ

◇女子シングルス

▽準々決勝

3月19日（月）

ウィンブルドン・バドミントン・スカッシュ・クラブで、わずかな時間、練習。クラブ制は時間が区切られているので、きょうはほんの30分だけ。

市内から40分ぐらいかかるので、どうして市内でやれないのかと聞くと「ロンドン市内には二、三しかクラブがなく、それも小さいので、ここが一番なのだ」ということでした。

デンマークのクローネから英国のポンド、シリング、ペンスに変わるやいなや、10ペンスが2シルで…などと小銭をひろげ計算でテンヤワンヤ。5クローネ（ご苦労ね）

3月20日（火）

全英選手権レセプション。全英の主役ハルトノがカゼで欠席これは一大事です。

3月21日（水）

ホテルはウェストミンスター寺院とバッキンガム宮殿の中間ぐらい。ロンドンには大きな公園がいくつもあって、グリーンの芝生に、いまはピンク色のアーモンドや白、黄、紫のクロッカス、黄色のラッパ水仙などがとてもきれいに映えて咲きほこっています。

東京レストランにて日本食。あまりのなつかしさに涙がこぼれんばかりの顔をして、目の前に置かれるとすぐ口が動いているペース。一つ食べ終わると、「つぎ！」それしかいわない。

3月22日（木）

ホテルの近くの小さな小さな公園にはハトがたくさん遊んでいます。あるハトの夫婦、どこへ行くのにもくっついて離れようとしない。とてもうらやましい光景でした。

毎日、口ぐせになった言葉。「白菜の一日漬け（一夜漬けのことじゃないでしょうか）が食いたいなあ」

「元気？」「はつらつ」（これは合い言葉）「トロロとタラコとうどんと……」

3月23日（金）

ウェンブレーまでタクシーで2ポンドから2ポンド50。道中は歌がいっぱい。ヒット曲ベスト1は「おりづる」♬折ってたんで、また折って…（本当は裏返しですね）

コリアン先生、最近、真剣になにやら考えごと。新作でも発表するのでしょうか。

（ご苦労ね）

女子単ベックが初優勝

英国勢地元の面目を発揮

▽準決勝
湯木　博江 11—8, 11—4
セコム(オ)
ギルクス(英) 11—4, 12—9
センE・ニール(デ)
ベック(英) 11—3, 11—3
竹中　悦子
コーペン(デ) 11—6, 11—1
ツェドベリ(スウ)

▽準決勝
M・A・ギルクス夫人(英) 11—4, 11—5
湯木　博江
マーガレット・ベック(英) 11—2, 11—5
レニ・コート・ベック(デ)

▽決　勝
マーガレット・ベック(英) 11—8, 11—0
M・A・ギルクス夫人(英)

◇女子ダブルス

▽準々決勝
相沢マチ子
竹中　悦子 15—5, 18—13
ボクソール
ウェトナル(英)

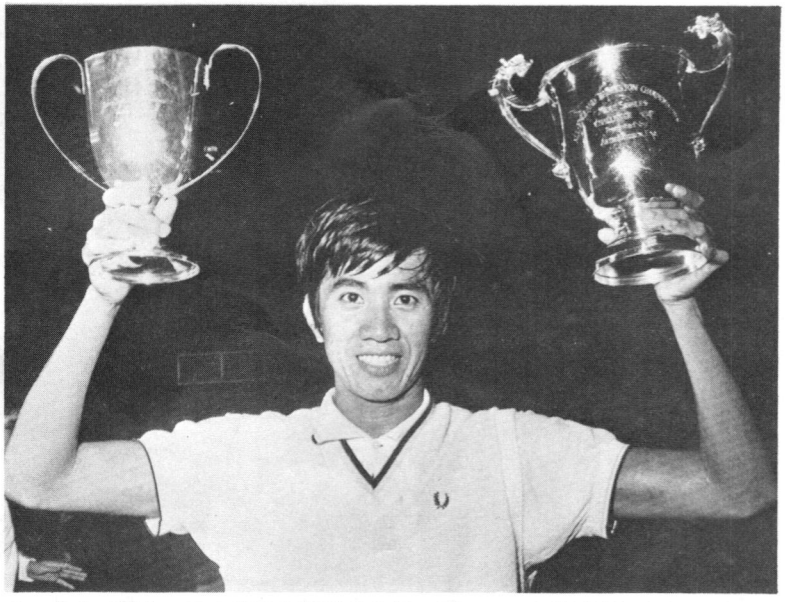
ニールセン(英) 15—5, 13—15, 15—5
ティーゲ、ハシュマン(南ア)
カガード(デ) 15—9, 15—17, 18—15
バンデルミュレン、リストランダー(オ)
ベック(英) 15—5, 15—5
ステデン
ギルクス(英) 15—5
ジズマン(西独)

▽準決勝
相沢マチ子
竹中　悦子 9—15, 15—13, 15—7
E・ニールセン夫人、ハシュマン夫人
ベック、ギルクス夫人(英) 15—2, 15—4
カガード夫人、ストランド夫人

▽決　勝
相沢マチ子
竹中　悦子 15—10, 10—15, 15—11
ベック、ギルクス夫人(英)

◇混合ダブルス

▽準々決勝
タルボット
ギルクス夫人(英) 15—0, 15—0
パーネクロ(英)
ツェドベリ夫人(デ)



▲ハルトノ強し，史上初の6連勝の偉業。デンマーク選手権と合わせ二冠。

マリちゃんはホントによく寝ます。よく食べます。寝る子は育つ，その通り本人は太った太ったと気にしてるんです。でも食べるだけはやめられない。

3月24日（土）

体育館の前で両手を思い切り広げて深呼吸した人に「あっ，胸がない！」と真面目な声。だれだ，この人は。「私はジャパニーズ・サイズよ」

3月25日（日）

パリまではロンドンから一時間余り。ホテルは凱旋門の近くで，シャンゼリゼのマロニエの並木がずっと続いている中を，人々がおしゃべりしながら散歩そんなロマンチックな場所なのに，わが一行は，どっかないかと，空腹をかかえてレストラン探し。

パリでは，よくチワワに会います。だれかさんは「こんチワワ」と互いにあいさつ。

3月26日（月）

前回，ミレなかったので，今回こそどうしてもミローとしたのに，またまたミレーがミレなかったのです。惜しい，惜しい。

3月27日（火）

ローマはやはり古い。街全体が古代ローマそのままのような感じで，タイムトンネルにでも乗ってきた錯覚を起こしそうです。お店は1時から4時まではお休み。

ヘンなイタリア人，「新婚旅行？」と日本語で。ヘンな日本人のキンちゃん「ええまあ，これが第一，これとこれが第二，第三夫人です」。失礼ねッ。

3月28日（水）

「ローマへ行ったらローマ風呂へ入ろう」なんていう人に，「カラカラ皇帝に聞いてみな，と気にしてるんです。でも，きっと，カラカラ浴場はカラだってカラカラ笑われるぞ」

ホテルの食堂には日本人の前田さんというコックさんがいて日本食OKというので，さっそくカツ丼と親子丼を註文。その。大きいのには，いやはや驚いたさすがの悦子さんも食べ切れないほどなのです。でもおいしい。頭の先からツマ先までじーんときました。

3月29日（木）

レオナルド・ダ・ビンチ空港へ。SK985便，東京行きの重い荷物と，いっぱいの収獲とさまざまな思いを積み込んだ飛行機は，これから24時間の空の旅が始まる。

ゴウ、スチュワート夫人（スコ）15－8 15－10 エディ、ウエトナル夫人（英）15－2 18－15
スチュアート、ガードナー（英）17－15 15－7 ワルスート、カガード夫人（デ）15－11 15－7
プリ、ストランド夫人（デ）15－11 17－15 メイワルトステデン夫人（西独）15－7 15－5
▽準決勝
タルボット、ギルクス夫人 15－5 15－3 ゴウ、スチュワート夫人
スチュアート、ガードナー 15－3 15－4 プリ、ストランド夫人
▽決勝
タルボット、ギルクス夫人 9－15 15－13 15－8 スチュアート、ガードナー

欧州勢、アジアを軽く突き放す

エジンバラ招待競技 日本女子、意外の不調

ヨーロッパ×アジア対抗競技会は三月十七日、英国エジンバラで行なわれた。昨年のグラスゴー招待のように、男女一流選手だけを集め、全英選手権の前哨戦として前景気をつけるもので、日本からは湯木、相沢、竹中の女子三選手が加わった。

試合は男子単3、女子単、男女複が各2、混合複1の10試合。

男子シングルスではハルトノがフルゲームでプリ（デンマーク）に敗れ、女子シングルスでは、湯木が二月の国際女子で5連戦5連勝した相手のカガード夫人（スウェーデン）に苦杯。世界ペアの相沢・竹中もベック、ギルクス組（英）に負けた。

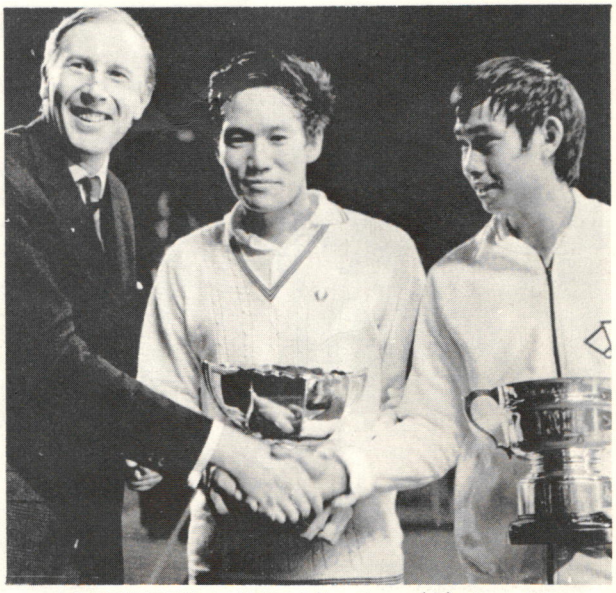
ヨーロッパ 8－2 アジア

◇女子シングルス

ツェドベリ（スウ）11－2 11－6 ○リ夫人（ス）7－11 11－7
○ベック（英）11－6 11－6 ウタミ（イン）

◇女子ダブルス

クリスチャンセン、○夫人、カガード夫人（デ）15－3 17－16 湯木博江・タチ（イン）



▲全英選手権男子複で2連勝のクリスチャン（右）チャンドラ

〈日本選手の関係分成績〉

デンマーク選手権＝準々決勝以前

◇男子シングルス

▽一回戦

本間 順次 15－9 18－13 ゴエル（印度）
銭谷 欽治 15－8 15－1 デーリン（ノル）
シュナーゼ（西独）15－9 15－9 今泉 勉
ビンター（西独）15－8 15－9 遠藤 好男
▽二回戦
本間 順次 15－7 15－8 J・ニールセン（デ）
銭谷 欽治 15－11 14－18 15－12 ガーバーズ（西独）
▽三回戦
ローゼ（デ）15－10 15－1 12－15 本間 順次
カンナ（印度）15－4 15－5 銭谷 欽治

◇男子ダブルス

▽一回戦
本間 順次 今泉 勉 15－7 10－15 15－5 ガーバーズ メイワルト（西独）
遠藤 好男 銭谷 欽治 不戦勝
▽二回戦
本間 順次 今泉 勉 15－2 15－5 ゴンザレス（メ）アーサー（英）
チュンチュン、ワジディ（イン）15－4 15－4 遠藤 好男 銭谷 欽治

◇女子シングルス

▽二回戦（日本選手は一回戦全員が不戦勝）
湯木 博江 11－4 11－1 ライヒマン（オース）
ブリストル（米）棄権 相沢マチ子
竹中 悦子 11－8 11－0 ガードナー（英）
西尾真理子 11－4 11－4 ジャイルズ（英）
▽三回戦
湯木 博江 11－1 11－3 11－7 タチ（イン）
竹中 悦子 3－11 6－11 ストランド（デ）
ツェドベリ（スウ）7－11 5－11 西尾真理子

◇女子ダブルス

▽二回戦（日本ペアはともに一回戦不戦勝）
湯木 博江 棄権 ビュヘルト キェルビー（デ）
西尾真理子
ジャイルス ガードナー（英）15－7 17－14 6－15 竹中 悦子 相沢マチ子

重圧ハネのける気力と判断力

2連勝をふり返って 改めて基本を確認

相沢マチ子
竹中悦子

一万人近い観客の目が、小さな一面のコートに集中すると、緊迫した空気が漂います。全英選手権の最終日。全5種目の決勝は、女子シングルスから始まりました。

私達のダブルスは第三試合でした。相手はシングルス優勝のベック、そして準優勝のギルクス。本来なら、相当、覚悟してかからなければならない相手なのですが、フタをあけてみるとギルクスの当りが悪く、前衛での迫力がありませんでした。シングルスの決勝を戦ったあと、ということが、幾分か影響していたかもしれません。

とにかく、彼女の誇る角度とスピードがカゲをひそめ、むしろネットぎわでのミスとレシーブのミスが目立ちました。私達も決して調子のいい方ではありませんでしたが、相手が調子が悪いとなると、なおのこと、負けられない、という気持ちが強く起こってくるものです。そんな気持ちが作用してか、ゲームをファイナルに持ち込んだときには、もう、負けるなどということは考えられませんでした。

昨年末の全日本以来、対ヨーロッパ選抜、そして遠征に来てからもデンマーク、ウェンブレーと続いた低迷。それを振り切って、夢にまで見た全英選手権の二連勝達成。厚くたれ込めた黒雲を突き破り、ぽっかり青空へ飛び出したような、なんともいえない感激でした。

栄冠をかち得て学びとったこと——それは、決勝という独特な雰囲気の中でも、その重圧をハネのけるだけの心の強さを持ち、本来の実力を発揮できなければいけない、ということが一つ。そして、第二に、大試合になればなるほど、冷静な判断力と、それに基くゲームのかけひきが要求される、ということでした。

考えるまでもなく、これは大変に基本的なことであり、いつも、ふだんのプレーヤ練習の中で、だれもが注意して身につけていかなければならないものです。しかし、とかく私たちはそれを忘れがちであり、改めて、優勝（栄光）への道は、基本に忠実であればあるほど、近いものだ、と痛感させられました。

全英選手権＝同

◇男子シングルス

▽一回戦

今泉　勉	15	17	16	スミス
	15	1		（英）
シュナーゼ	15	15	12	遠藤　好男
（西独）	11			

本間　順次	15	15	4	ブリバント
	2			（英）
銭谷　欽治	15	15	13	ベル
	9			（英）

▽二回戦

E・ハンセン	15	15	9	今泉　勉
（デ）	12			

本間　順次	15	6	15	ジャイエン
	3			（タイ）

プリ	15	4		銭谷　欽治
（デ）	0			
カガード	15	11		本間　順次
（デ）	8			

◇男子ダブルス

▽一回戦

銭谷　欽治	17	4		パースンズ
遠藤　好男	15	9	15	マクミラン
	15	10		（南ア）

▽二回戦

本間　順次	15	12		クキ
今泉　勉	15	10		ガーバース
				（西独）

銭谷　欽治	15	12		デルフス
遠藤　好男	15	12		モリルト
				（デ）

▽三回戦

エディ、サ	15	8		本間　順次
ットン（英）	17	14		今泉　勉

E・ハンセン、	15	5		銭谷　欽治
ワルー（デ）	15	10		遠藤　好男

◇女子シングルス

▽一回戦

ギルクス	11	10		西尾真理子
（英）	11	0		

竹中　悦子	11	5		リュースケ
	7	11		ン（オ）
	11	2		

▽二回戦

湯木　博江	11	4		フロックハ
	12	11		ート（スコ）
バリナガ	11	7		棄権　相沢マチ子
（米）				

竹中　悦子	11	6		ウタミ
	11	12		
	11	3		（イン）

▽三回戦

湯木　博江	11	6		ツィーボル
	11	7		ト（西独）
竹中　悦子	11	5		ボストフテ
	11	7		（デ）

◇女子ダブルス

▽一回戦

竹中　悦子	15	5		ブッヘルト
相沢マチ子	15	8		（デ）ベケ
				ット（ア）

湯木　博江	13	15		ボストフテ
西尾真理子	15	6		バーネコウ
	15	7		（デ）

▽二回戦

相沢マチ子	15	2		ティンレー
竹中　悦子	15	4		シェド（カ）

ステデン、	15	12		湯木　博江
ジズマン	16	17		
（西独）	15	13		西尾真理子

◇男子シングルス

▽一回戦

ベック、	15	11		相沢マチ
○ギルクス				子
夫人（英）	15	1		竹中悦子

◇男子シングルス

S・ジョ	15	12		チュンチ
○ンソン				ユン
（ス）	15	11		（イン）

○ボショウ	15	8		ジャイエ
（西独）	15	4		ン（タイ）

◇男子ダブルス

○プリ	12	15		ハルトノ
（デ）	15	6		
	11			（イン）

ペテルセ	17	16		クリスチ
ン、プリ	5	15		ヤン、チ○
（デ）	8	15		ヤンドラ
				（イン）

◇混合ダブルス

メイウル	12	15		ジャイエ
ト、ブラ	15	9		ン、ラタ
ウン	16	17		ヌソルン○
（西独）				（タイ）

タルボッ	15	8		ハルトノ
ト、ギル				（イン）
○クス夫人	18	15		竹中悦子
（英）				

あなたは全部正解ですか

――審判講習テストからの50問――

さる二月十一日、東京都高体連主催の審判講習会が千代田女子学園に七百人の受講者を集めて行なわれた。以下に掲載したのは、そのとき出題された日本協会競技規則についての50問（正しいものに○印、誤りは×）である。あなたも全部できるだろうかためしてほしい。そして、わかっているはずのルールでも、もう一度読み直してほしい。では――

＊＊＊＊＊

1・ルールといえば競技規則のことをいう

2・国際バドミントン連盟はIBFという。

3・国際規則と各国の規則は言葉は違うが内容は全く同じである

4・国際規則が変われば、自動的に日本の競技規則も変わる

5・ラインの幅はコートの内側にとるので、太くても細くてもプレーには差し支えない

6・バウンダリラインといえばバックラインのことをいう

7・バックアレーの幅は76センチメートルである

8・正式の試合をするのにはラインの色は白でなければならない

9・競技規則には「ポール」という用語はない

10・ポストの長さは、ネットが張れれば床上1・55メートルより高くてもよい。

11・ネットの網の色は白でなければ何色でもよい

12・ネットの張り方は、どうしてもたるみがちなので、できうる限りピーンと張らなければならない。

13・ネットの横は、ポストに密着させなければいけない

14・バードとか、シャトルとか、コックとかいう名称は、正しくはシャトルコックという

15・正しい速調（ペース）を調べるのに次の四つの条件を示している。これは全部正しいか

①バドミントンのプレーヤーが②上に向って③フル・スイングで④下手打ちによって打ったとき

16・前問で、この飛距離はバックバウンダリ・ライン上で、サイドラインに平行に打って、向い側のバックアレーに落ちるのが正しい

17・シャトルの重さは一定ではないが（73グレーン～85グレーン）一般に湿度が一定、同一場所ならば、寒いときには重いものを使う。

18・公式試合に自分で作った大形ラケットで出場しても、規則違反にならない

19・ガット（gut）とは本来、草食動物の腸から造った糸のことで、ナイロンガットなどはない

20・アウトサイドとは、シャトルがラインの外へ落ちたことである

21・トスとは、じゃんけんのことである

22・バドミントンでは、ポイントが重なってゲームとなり、ゲームが重なってマッチとなる

23・ゲームセットを除き、セットとはセッティングのときの用語で、他では用いない

24・13オールのときインサイドがセッティングするといったので、3ポインツのセットをした

25・セッティングのカウントが2オールになったので、さらに3ポインツのセッティングをした

26・チェンジ・エンドとはチェンジ・コートのことである

27・バドミントンにもジュースはある

28・13オールのときセッティングの権利を放棄すれば、14オールになっても絶体セッティングはできない

29・セッティングは、プレーヤーの意見も聞くが、決定権は主審にある

30・RSLとは、米国製シャトルのことである

31・インプレーとは、最初のサービスからサービスオーバー（またはゲームオーバー、ゲームセット）までをいう

32・ダブルスの場合、1イニングの中には、必ずセカンドサーバーがある

33・シングルスの場合、得点が偶数ならば必ず右側のサービスコートからサーブする

34・サービスオーバーでサービス権が移ったとき、ファーストサーバーのパートナーが順番を間違えてサービスをし、かつ負けた。そのとき主審は、その人をセカンドサーバーとして、再び同じ場所からサービスをさせた。この処置は正しいか

35・男子シングルスのファイナル・ゲームで勝っている方が6点でチェンジエンドをし、8点になったとき主審は間違いに気がついたので、得点を6点にし位置も元に戻して再開する

36・バドミントンにもボークがある

37・サーバーがラケットをほとんど床面に平行にサービスを出したら、オーバーウエストである

38・サーバーとレシーバーの規定のサービスコートは、ある条件を考えると、レシーバーのサービスコートの方が広い

39・サービスとはサーバーのラケットでシャトルが打たれた瞬間に始まる

40・ラリー最中、ネットの下から相手のコートに足が出たらフォルトである

41・サービスのときのネットインは、ノーカウントでもう一

度やり直す

42・プレー中、相手の打ったシャトルがネットに当り、越えそこなって床に落ちていったので、ネットの下から床につく前にすくい上げたら、フォルトである

43・インプレーのさい、1ストロークの中でシャトルを二度打ったらフォルトである

44・シャトルを誤って手で打ったが、相手側のコートに入ればフォルトでない

45・ダブルスでサーバーのパードナーは、サーバーやレシーバーを相手から見せなくしたり妨害したりしなければ、コートの外にいてもよい

46・サービスの直前、大声でかけ声を発し相手を圧倒したらフォルトをとられる

47・サービスをしたのに、レシーバーが用意ができず全然受けようとしなかった。これはレットである

48・サービスを出すために構えていても、レシーバーがぐずぐずして構えない。あまり長いときはレシーバーのフォルトになる

49・試合中、プレーヤーの足がけいれんしかけてきたので、試合を一時中止して回復を待った

50・第3ゲームの直前のインタバルについては、なんの断わりもない場合、プレーヤーの話し合いでインタバルを決定する

解答と参考条項……

2、7、9、13、17、18、19、22、23、36、38、40、45、46、47、48＝以上が○印。あとはすべて×となる。

念のため、おもな項目について、参照すべき競技規則の条項をあげておくと——

8→1条1項（白、黒または見分けやすい色ではっきり…）

10→2条（ポストは床から1.55メートルの高さで…）

11→2条

12→2条

14→4条（正しくはもちろんシャトルコックだが、競技規則では国際バドミン連盟の英文でも、日本協会制定の日本文でもともに〝シャトル〟が採用されている）

15→4条

16→4条

20→5条3項

24→7条1項

25→7条1項

28→7条3項

29→7条1項

31→9条2項

33→13条1、2項（サーバーのスコアが0あるいは偶数点のときは、それぞれ右側の…）

34→12条（…誤ったサイドが打ち合いに負けたときには、そのままとし、プレーヤーの位置を直してはならない）

35→8条（不注意でこのようなときにエンドを変えなかった場合は、気がつきしだいすぐ変えてスコアはそのままとする）また12条には（プレーヤーが不注意でサイドを間違えて…プレーヤーの位置を直してはならない）とある

37→14条1項

39→9条2項および15条

40→解説2および14条10項

42→14条5項（相手の打球そのものがフォルトである）

43→14条8項

44→14条5項

45→16条、ただし大会運営規定42条によって制限される

46→19条10項および大会運営規定26条、27条

47→15条

49→22条2項

50→22条1項および解説3の(2)を見よ



〈第5回〉日本教職員連盟編

第6章　競技者

第35条　大会に参加する競技者は、本会に定められた期日までに会員登録を完了した者でなければならない。また本会に登録していない外国人および外国のバドミントン協会（連盟）に登録している日本人の参加を認めた場合には当該国のバドミントン協会会員たるアマチュアであることを確認しなければならない。競技者とは、大会に参加するチーム役員（監督、コーチ、マネージャーなど）およびプレーヤーをいう。

問51　連盟の大会に参加する競技者は、その連盟の会員でなければいけないということですが、全日本学生大会に参加する大学チームの監督や、全国高校大会のチーム・コーチも学連や高体連の会員なのですか。

答　そうです。大学チームの監督はその大学の教授や卒業生の場合が多いのですが、学連に登録しているはずです。高校の場合は顧問の先生が監督となるのが建て前で、やはり高体連に登録しています。

近くの大学のプレーヤーなどが高校生を指導している場合、このコーチは高体連の会員ではないはずですから、本来は大会のチーム・コーチとして参加することは許されないはずです。

第37条　個人戦において組合せ決定後、出場者の変更はできない。プレーヤーは同一大会の同一種目において2つ以上にわたって参加することはできない。

問53　個人戦では組合せが決まったら出場者の変更はできないそうですね。では申し込み締め切りの後でも、組合せが決まるまでは変更してよいのですか。

答　うまく盲点に切り込んできましたね。運営規定ではそうなっています。けれども、たいていの大会では大会ルールによって申し込みの締め切り後は変更できないことにしています。

以前には、ダブルスの2人のうち1名は、その試合開始前なら、変更できました。しかし、この恩典は悪用されるおそれがあります。あて馬作戦ですね。それで、現在のようになりました。本当はこれは残念なことであり、諸外国に対して恥かしいことです。恩典が復活され、しかも悪用されない日の来ることを切望します。

第39条　プレーヤーは運動着と運動靴を着用する。着衣はブレザー・コートを除き、すべて白単一色を原則とし、バドミントン競技の品位を保つために、本会が推薦するものを限度とする。

男子の下衣は長ズボンまたは半パンツ、女子はスカートとショーツ、または半パンツ、ワンピースを着用する。

第40条　プレーヤーは相手または観客に異様または不快な感を抱かせる服装をしてはならない。

防汗または整髪のため白い運動帽または白い鉢巻をよしとするが、体裁よく着用または結ばなければならない。

問55　プレーヤーの着衣はブレザー・コートを除き白一色と決められていますね。ところが日本協会の推薦する各種ウエアには、赤や青の線が入っています。昭和四十年の改訂で運営規定が変更されると思っていたのですが。

答　白一色を原則とする…というところは変っていませんね。この「原則とする」という点が、今回の改訂では広い解釈になったようです。けれども無制限に許したのでは「原則」もないことになります。そこで、バドミントン競技の品位を保つために、日本協会が推薦するものを限度とする、と定めたのだと考えます。

これは国際的な推移を見ての味わいのある規定です。日本協会用具委員会の良識ある賢明な指導に期待しましょう。

次の条の白い運動帽、または白い鉢巻についての条項も、よくその趣旨を汲みとって、男子女子それぞれに、バドミントン競技にふさわしい服装をすることを心掛けましょう。

第41条　プレーヤーは規定の時間中を除き、1試合を終了するまで、コーチ、監督または応援者と競技上の打合わせをしてはならない。

問56　試合中、サイド・コーチをしてはいけないのですか。

答　バドミントン競技の本来の姿としては「プレー」から、「ゲームセット」までプレーヤーは全く孤独で、全て自分の判断で試合すべきものです。ダブルスでのパートナー同士の打合わせは、むしろ必要な場合がありますが、そのためにプレーを中断してはなりません。

これについては、私達の勝手な解釈をしてはいけません。バドミントン競技がどのようにして生れたか、また、どのように育ってきたかを正しく見て、その本来の姿を知るように努力すべきです。このバドミントンの特性があるからこそ、バドミントンをプレーし、また指導しているのだという人も、たくさんあるのではないでしょうか。

ただし、第3ゲームがある場合、その直前のインタバルの間には、適切な指示を与えることはよろしいでしょう。また、教育の場の中で試合をしている中、高校生や大学生の大会では、技術上のサイド・コーチではなく教育的な指導である限り、そして試合を中断しない限り、コーチは許されると考えています

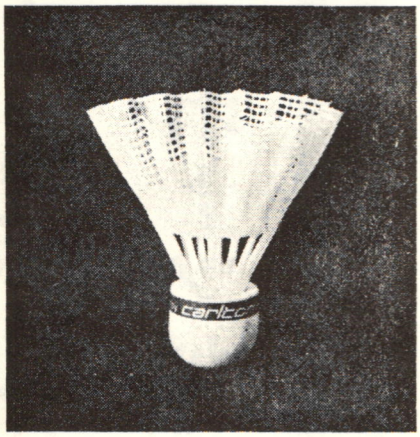
この大会運営規定100問集は一部百八十円、左記で取り扱っています。百万人のプレーヤー必携の書として一冊、お求め下さい（送料別）。

◎東京都練馬区旭丘一の五一
日本教職員連盟、前田耕作方

カアルトン ニュートーナメント は水鳥？

ナイロンを感じさせないナイロン。

新開発された、カアルトン〝ニュートーナメント〟シャトルは、ナイロンと云うよりも英国製高級水鳥シャトルに最も類似した性能を備えた、新しいシャトルです。



ニュートーナメントの特徴

●打球音が変った●ラケットから離れる感じが変った●ネットでのターンノーバ（回転）が変った●スピン●シャトルに対する視覚度（よく見える）がよくなった●飛翔のときの一貫した安定性が増加された。

メトロレジャー株式会社

東京都千代田区外神田5-6-4 TEL. 833-3661（代）

シリーズ“人間”

『見本』頼りに『総員かかれ』

ナルトスポーツが〝国産〟第一号

私は証言する、もう一つの原流

大澤渉

本誌第33号（72年6月号）を思い出していただきたい。広田兼敏氏の〝黎明時代とミナト横浜〟に「ナルトスポーツが用具輸出」という一節があったはずだ。このナルトスポーツこそ、日本で初めて用具を製造したばかりでなく、その用具を使い、横文字ルールと首っぴきで、みずからプレーした〝純国産〟の集団であった。その当時のことは半ば伝説化し、くわしく知られていなかったが、折りよくここに「私が作り、プレーした」という生き証人が現われた。それが、本編の主人公、大澤渉氏である。日本バドミントンのもう一つの〝原流〟それは外人から習ったものではなく、みずからの努力で身につけたものだった。丁度、40年前の夏、横浜の一角に舞い込んだ一枚の註文状から、それは始まった——。

ジャワから舞込んだラケット註文

昭和八年夏　社内は〝黒船以来〟の騒ぎ

昭和八年、私は横浜市西区東久保町にあったナルトスポーツ（経営者・岡藤吉）に在職しておりました。その年の夏頃だったと記憶しているのですが、当時、会社の設立の母体であったジャワ島（現インドネシア）スラバヤ市のTheSporting Houseからバドミントン・ラケットの註文が入ったのです。

話が前後しますが、ナルトスポーツは、ジャワの前記店で販売するテニス・ラケット（もちろん硬式）の製造と同時に、一般運動具を仕入れて、ジャワに輸出していたのです。

そこへ、バドミントン・ラケットを見本として送ってまいり製造するようにとのことだったしだい。造ることは専門でありさっそく金型など手配して、準備に入りました。

しかし、バドミントン・ラケットがあまりに弱々しいので、いったい、どんなプレーに使われるのかと、ジャワへ、いろいろ質問し、同時に「もしセットがあれば、送ってほしい」と手紙をしたのでした。

折返し、スラゼンジャー製ダブルス・セットが送られて来ました。「ヘェー、羽根つきのようなゲームじゃないか」といいながら調べると、ラケット四本ネット一張、ポール一組、シャトルコック6個、パンフレット一冊が木箱に入っていました。

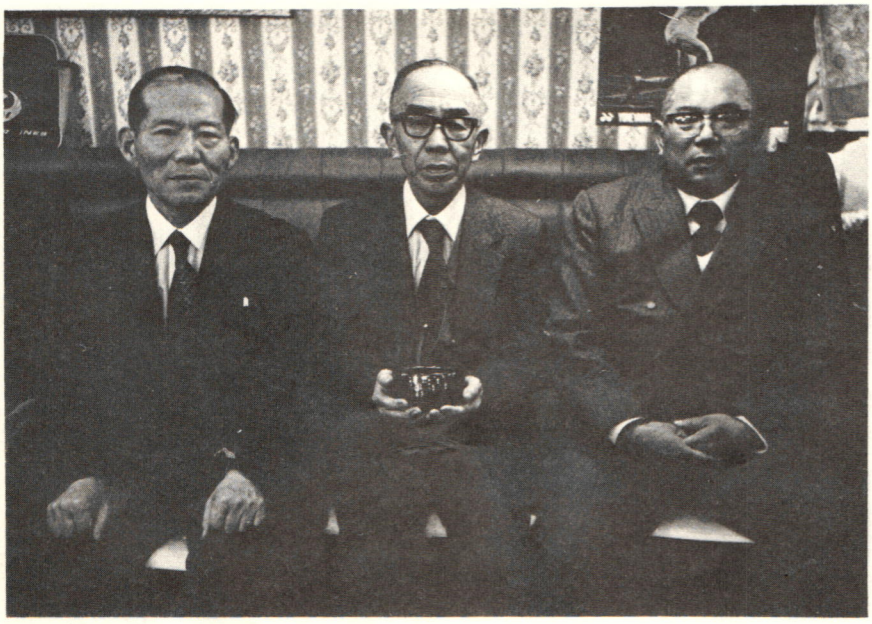
パンフレットは、飜訳しなければどうにもならず、苦労しておったところ、もと三井物産のジャワ島スラバヤ支店におられた（現在、横浜市在住）山本弥太郎さんが見えて「やってあげよう」と持ち帰られ（当時、同氏は岡山の支店勤務だった）数日後、訳文を送って下さいました。

さっそくバドミントン競技の解明にとりかかり、朝から晩まで、時間があれば「こうか、ああか」と机上で論議しました。

まず、打法は軟式テニス式では絶体にダメであることがわかりました。道路で打合うだけの練習を、最初に始めました。し

かし、これではどうにもならず「なんとか、屋外でよいから」と、コートの入手を店主にたのみました。

丁度、その頃には、シャトルもなんとか自力で作ろうと試みました。目方の〝グレーン〟などは全然知らない単位。特註で作ってもらい、コルク屋だ、皮革屋だ、それテープだ、くくり用の糸、ラケットのガットの研究だ、羽根を差込む穴あけの角度の道具だ等々、ちょっとやそっとの騒ぎでなかったことは、想像願えると思うのです。



ことし二月、女子国際選抜（欧州×日本）の宇都宮大会パーティで。左から小柴貢・栃木県会長、大沢市、松本・県理事長。

屋外コートつくり、みずからプレー

街中で実演、普及活動も活発に

当時の私の仕事は、現在同様経理でしたが、その方は半日と夜にし、残りの半日は、シャトル製造の指導、というよりは、かたっぱしから製品の結果をテストしたり、材料の手伝いをしたりでした。

そのうちに、工場を建てることになりました。私の住宅の隣りが空地だったので、そこの北側に二階建の工場を建て、南側にコンクリートを流し、屋外ながら、一応練習のできるコートをつくったのです。

やがて、横浜のYCACという外人クラブにラケットを納めたり、シャトルを売ったりするようにもなりました。国産のシャトルコックの製造も、ここがスタートだと存じます。

話はまた戻ります。コートができ、いよいよプレーに入ったのですが、道路で打合っていた時は、別にネットがあるわけではなし、勝手気儘でしたが、今度は、そうは問屋がおろさず、まともに打合うことができるようになるまでは大部、時間がかかりました。

ルールと首っぴき、原文を、もう一度見ながら。こんな苦労も、辛いと思わなかったのは、私たちが皆、未知のものに挑戦し、征服する喜びに燃えていたからでしょう。

やっと翌年の春頃には、プレーに自信も持て、人に説明もできるようになりました。

工場でも相当の人数が朝に夕に楽しみながらプレーをしていたので、まずこれを横浜の人々に知ってもらおうと、社長が伊勢佐木町の近く、馬車道にあった空地を一カ月ほど借り、コートを三面つくりました。

宣伝がてら、希望者には教えることにしました。常時、四、五人を派遣、日曜日などは七、八人も出かけて、希望者にプレーさせ、かつ、競技を説明いたしました。

その時、現日本協会副会長の広田兼敏氏も、通りすがりに見たとのことでした。私のパートナーは、現在、北海道におられる田中荘三郎君でした。私の妻も、その頃から、一応、指導できる技術を持っていました。

このような経過からもおわかりのように、私たちのプレーはパンフレットだけを先生として身につけたもので、しかも、それを解説して、人にも教えてきたのです。もちろん、すべては岡藤吉氏が、このプレーを愛しここまでにするまでの時間等を私に下さったからこそできたことです。

四十七年三月号の〝スポーツ用品ジャーナル〟に河崎ラケットの堺君が紹介した記事のように、YMCAが日本のバドミントンの発達史の原流ではない。日本のバドミントンは〝一車線〟で入ったものでなく、時を同じくして〝二車線〟で入ったものだ、ということを知っておいてほしいと思うのです。

岡藤吉氏が力を入れておられたことや、その経路もご存知の方がかなりおられるはずですが前述の記事に関し〝二車線〟の形で入ったとの説明を公けにさ

本邦初の競技規則書も出版

昭和九年　偉大だった岡社長の功績

れた方が、あったでしょうか。

おそらく現会長も、バドミントン競技に、このような別のルートもあったとは、ご存知ないのではないかと思います。第二回全日本バドミントン大会のシングルス優勝者・岡淳一君は岡藤吉氏の甥。私達が苦労した別の車線で上達した人です。

岡藤吉氏の手から入ってきたバドミントンも、立派にこの発展史の一翼を担っていることをバドミントン愛好者の全部が知っておいてほしいのです。

話はまた戻ります。新設コートで、ルールに従って試合しているうちに「これはなんとしても規則書を作らねば」と考え、テニスの規則書を傍らに、その形式にならって、バドミントン規則書を作り上げました。

プレーの内容が現在は多少、変更されていますが、当時のものとしてはどこにも間違った個所のないものとして、私は満足に思っています。昭和九年の印刷発行でした。非売品としてですが、どんな形式にせよ、印刷物としてバドミントン規則書が出されたのは、これが日本での最初だと存じます。

この規則書も、あの戦災にあい、ほとんど散逸、この稿を書いている最中も、手元に一冊もないような状態ですが、いま方々に電話したところ、なんとか見つかりそうだとのこと。ひと安心しているところです。

幸いに発見できたら、ゼロックスでコピーして、あとあと心配のないよう、記念品として有志の方々に保存願うつもりです。発行者・岡藤吉氏のためにも、是非、入手せねばと念じております。

私はある事情から、昭和十三年でナルトスポーツをやめましたが、その間、ナルトスポーツを主体に、古河電線その他と、毎年一、二回、選手権大会を催し、男女各シングルス、ダブルスを行ない、相当盛大でした。間もなく、私は台湾にまいりましたので、その後のことは詳細を知りません。

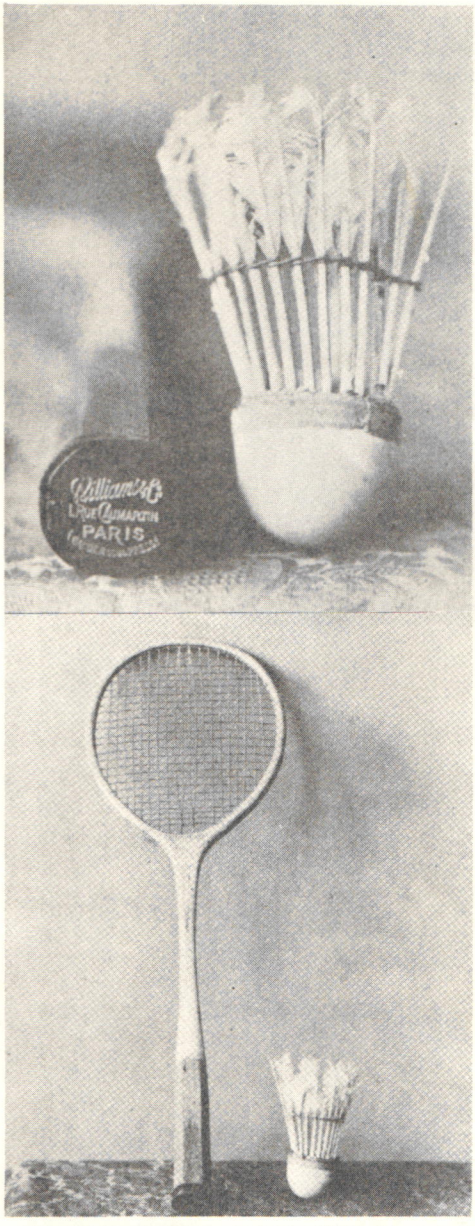
二十一年、引揚げてまいり、六月から郷里の宇都宮市で、貧しい引揚者生活に入ったのですが、家族から〝バドキチ〟といわれた程の私のバドミントンに対する愛情は、日とともにつのり、時折り、家内と打合ったり長女（当時、小学校五、六年）にラケットを握らせて教えたりしました。

丁度、第二回全日本大会が横浜で行われたさい横浜にまいり久しぶりダブルスに出場しました。また協会の懇談会にもオブザーバーとして出席し、席上、山田会長から「栃木県の副知事堤武雄氏は、軍属としてジャワにおったときバドミントンをやったことがある人だし、相談にのってもらって、協会設立に努力してほしい」むねを頼まれました。

その後、何回となくナルトスポーツにも出かけ、用具を仕入れたりして、なんとか目鼻をつけたいと、県の学校体育課にはうるさいと思われたくらい、お邪魔をし、競技をわかってもらおうとつとめました。

たくさんの先生方にお世話になりましたが、なかでも黒後梅男先生には本当にお世話をかけました。二十三年に県庁の中庭を使用させていただいての講習会をお許し願い、横浜と東京から選手を招待しました。

ところが運悪く風が出てプレー不可能の状態となり、がっかりしておりましたとき、全く夢想だにしなかったことが起ったのです。天の助けといわずには



明治35年ごろ新潟・朝倉氏が持ち帰ったといわれる英国の用具

貫ぬき通した〝バドキチ〟の半生

忘れられぬ栃木県協会の誕生まで

おられません「特に県会議事堂で講習会をしてよい」との許可でした。この結果、うれしかったことには、その会場で、さっそくこの競技の良さを認められダブルス・セットを購入され、みずからプレーをされ、かつ指導もされ、現在、私など及ばぬこの道の精通者となられ、栃木県バドミントン協会の土台を礎いて下さった、松本弘充先生が登場したのです。

その後もあい変わらず県庁にお邪魔し、阿部先生、相原先生などに、本当に力づけられながらやってきたある日、前記、黒後先生から「大沢さん、私もとうとうあなたの熱心さに負けました。来年は必ず協会設立ができるよう努力しますよ」といわれました。

そのときの嬉しかったこと、天にものぼる思いでした。おはずかしい話ですが、当時の私は引揚住宅に住み、昔からいう一文あきないをやり、六人の子供をかかえての生活でした。しかし、バドキチの私をよく理解しバドミントンに関しての時間はどんなに苦しい生活の中でも、一言も苦情をいわず行動させてくれた、妻の協力を感謝いたしております。

一口に十年といっても、なかなかの月日。それが、もうあのときから二十年です。協会創立後二、三年のお世話しかせず、宇都宮を去った私ですが、栃木県協会は、私の生のある限り、私の頭から去ることがないでしょう。二十周年がたまらない喜びでした。なにがなんでも三十周年を迎えたいと健康に留意しております。そのときがまいれば

協会は三十年
私のバドミントン暦は五十年
私の年齢は八十年となり
まことに数字が合うこととなります
すなわち、八十対八十となるのです。

本年からは、総合選手権にはお手数でも日時をお知らせ願って、できるだけ、つごうをつけて観戦したいものと、願ってもおります。

なお、大沢氏は「最近のルールはものたりない」と次の所感を付記されました。同氏の住所は「横浜市旭区川井宿町68－14」ご希望の方はお手紙をどうぞ。

バドミントン・プレーについての私の考え

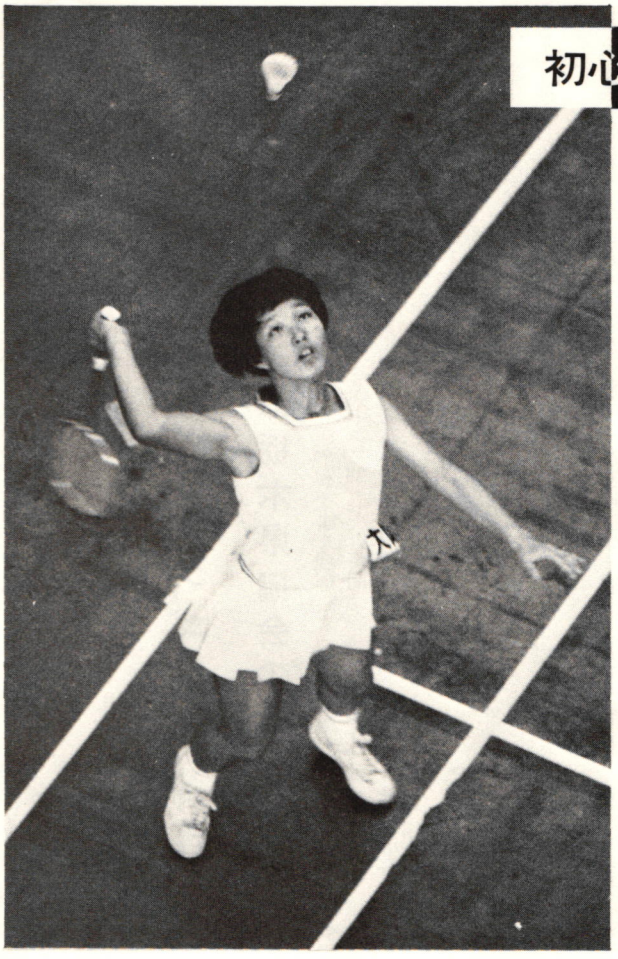
古いプレーヤーの私から見た現在のプレーには、心からの賞讃が持てません。昔のように厳しいルールがあってこそ、プレーに面白味や技術の高度化があると思います。

回転の少いシャトルを使用して昔のルール、つまりレシーブ側はレシーブするまで、片方の足はコート上になければならないことと、フレームに当たって相手方に入った場合や、正確な打面の返球でないものはフォルト、という厳しさが、もう一度復活したら、バドミントンの本当のよさが、わかるのではないでしょうか。

厳しさのあるところに、本当の優秀さがあるように思われてなりません。



水鳥 検定合格球
ファストゴールド
ファストシルバー
ファスト印シャトル
コック 製造発売元
有限会社 ジャワ商会
山形市六日町７の28
電話 0263（22）3994(代表)



初心者のためのスマッシュ

佐藤茂雄

理想は〝三要素〟の一体化

……アングル、コース、パワー……

先輩たちが隣りのコートで、ぽかすか打っているのを見ると初心者たちも当然、刺激され早く「あのように打ってみたい」と思うようになる。

特に、いままでカット、ドロップ、ヘアピンと、小技ばかりを続けてきたので、このあたりで、さらに興味を持たせるためにも、スマッシュ練習に入るのがよかろう。

スマッシュは攻撃の武器として使用するところに特徴があるそれを、より有効なものにするには、次の三者が一体となることが必要であり、その時に初めて爆発的な威力を発揮できるものである。すなわち

(一) アングル
(二) コース
(三) パワー

である。このうち、いずれか一つでも欠けると、それだけ効果は薄くなるわけである。

しかし、この三つは、あくまでも原則的なものであり、理想である。実際には、なかなか、そううまくいくものではない。そこで、要点を個々に説明してみよう。

最も高い位置でとらえる

第1章 原則

(一) アングル（角度）

リーチの差によってアングルは当然、異なってくる。長い選手は鋭角に、短い選手は鈍角になる。

▲シャトルは必ず一番高い打点でとらえる

また、フライト（タマ足）の長短と、打点の高低によっても、アングルは大きく変化してくるものである。アングルが鋭いか否かによって、相手のフットワークの乱れ具合も相当違ってくるものである。

リーチの差はどうにもならな

いので、やはり、かけひき（別の機会に説明）によって、スマッシュを打つにふさわしい、フライトの短い球を、相手にあげさせることである。

しかし、初めてスマッシュを練習するわけであるから、その人達を対象に、ごく大ざっぱに留意点だけを記してみよう。

(1) **打点**　一番高い所でとらえよう

ⓐ自分自身にとって、一番高い打点とは、カカトを上げ、利き腕を伸ばした（背伸び）ところである。

じっと待っていて、相手が自分につごうのいいレシーブをしてくれるわけではないから、自分から飛び込んで、最も高い打点の下へ、いち早く入り込んで行かなければならない。

つまり、待つのではなくとらえることである。

ⓑ最も高い打点が、いわゆる鋭角なアングル、シャープなアングルを生み出す。打点が低ければ、それだけ鈍角となり、球足も長くなり（**図1**）、相手に与える脅威感は少くなる。

ⓒ高い所でとらえるということは、当然、前で打つことになるわけで、それだけ、コースも見きわめやすい利点がある。

有利な両サイドへのストレート

ホームポジションから相手を引き離す

(二) **コース**

いくらアングルが良くても、どこへでも打てば良い、というものではない。やはり、コースを選ぶことが、スマッシュの威力をさらに高めるものである。

もちろんシングルとダブルスによって異なってくるが、シングルスでは、やはり両サイドからのストレートが良い（**図2**）

ゲームを行う場合は、だれでもが、ホーム・ポジションへのリターンを考えるものであるから、一見、なんでもないように見えるストレートが、実は自分のポジションからは最も遠くなり、レシーブが困難になってくる。（**図3**）のクロスと比較すれば、よく理解出来よう。

即ち、クロスは、相手の前をシャトルが横切って通るため、相手にとってはストレートよりも容易にレシーブすることが出来る。ストレートの場合は、相手が飛びついてレシーブすることが多いので、次への態勢が立て直しにくい、クロスより有効である。

もちろん、ストレートばかりが絶体ではない。クロスも、その中に時折り併用することによって、さらに効率が高くなる。

併用するには作戦、ということになるが、ちょっとだけ例を挙げて、触れて見よう。

（**図4**）の如く、Aへ2本連続してストレートを打ったとすれば、レシーバーのホーム・ポジションは当然のことながら、フォアの側（右利き選手の右サイド、こちらから見て左）に行ってしまい、コートに大きな空間が出来る。

このような時に、Bへ打ってポイントをあげる場合は、クロスが効果を発揮したといえる。（**図5**）は、その逆である。

クロスの併用も時には効果的

（**図4、5**）ともに、一見、クロスが決定打に思えるが、それは間接的なものであって、あくまでも、最初の2本連続のストレートが、直接的に大きく、相手のホーム・ポジションを狂わせたため、有効打になったといえる。

従って、コースを選ぶということが非常に大切なことがわかろう。（ダブルスにおけるコースの選択については、また、別の機会で触れよう）

(三) **パワー**

アングル、コースの二者が、せっかく合理的に行えるようになっても、力不足では話にならない。

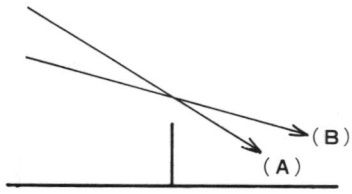


図1

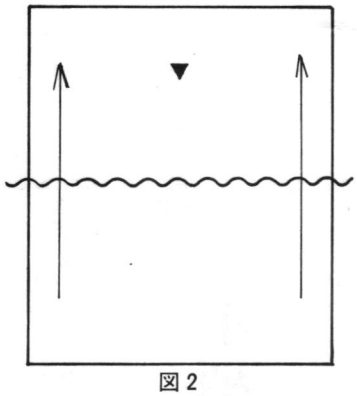


図2

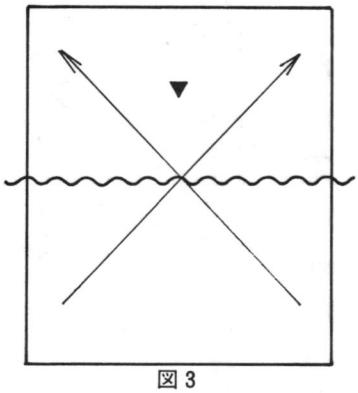


図3

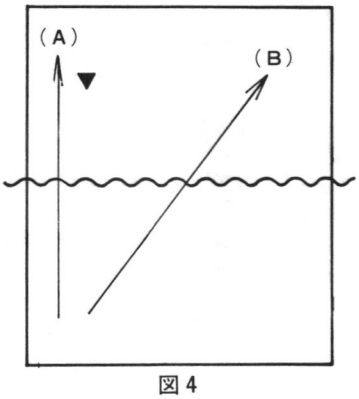


図4

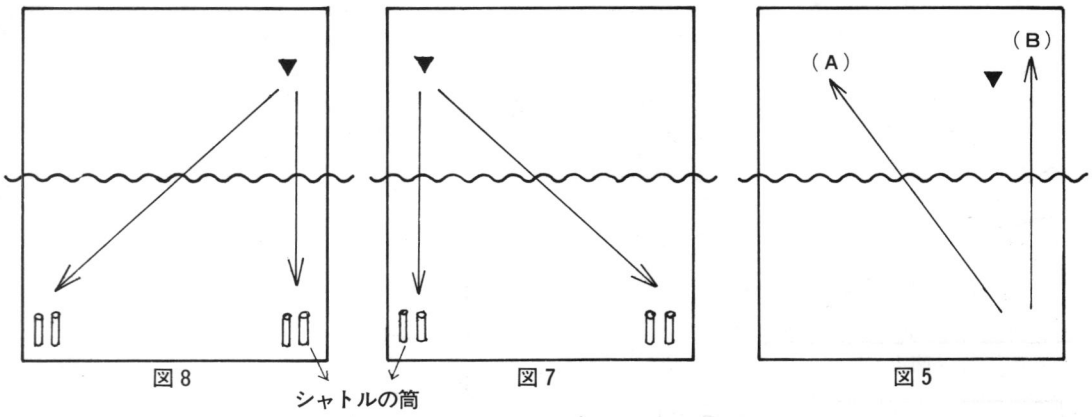


図8　図7　図5

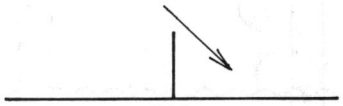


図6

ない。

より早い球、より重い球を打ってこそ、スマッシュの真価がある。

ふらふらしたナヨナヨ球では、いくら打っても、スマッシュを打つ側が疲労するだけであって、レシーバーにはなんの脅威感も与えない。のみならず、あげくのはては、こちらが疲れて自滅してしまう。

従って、スマッシュを打とうとするならば、それだけのパンチ力をつけなければならないことになる。

小柄な人は〝アングル〟捨てよ

だが欠かせないパワーの向上

第2章　応用

パワーのつけ方には、アイソメトリック・トレーニングなり竹や木でタイヤー叩きを行なったり、バレーボールとか、ハンドボールの不要になったものに砂をつめて、それにヒモを通して、それらの巻き上げを行なったり、バケツに適量の水を入れて、リストだけで上下運動を行なったり、コーラのびんに砂を入れて、亜鈴（あれい）の代用にしたり…など、いくらでも方法はある。

さて、以上は、ごく原則的なことばかりを述べたわけであるが、時には、この原則を破った方がよい場合もある。

すなわち、リーチの小さい人はアングルを捨て、パワーとコースだけを選びなさい——ということである。

小さな選手が、いくらがんばっても、そもそも大きな選手とは比較にならないわけであるから、パワーとコースだけで勝負しろということである。

パワーは努力すれば、いくらでも身につくが、アングルについては限界がある。したがって、早く、かつ重い球を、よいコースへ連続で打つように心がけることが大切である。

また、ネット前にダッシュして打つ場合は、パワーを捨てアングルだけの方がよい時もある。

なぜならば、そのような状況の時には、レシーバーは、やや後方に位置しているわけであるから、アングルだけに絞った方が、ポイントをあげる最も適切な方法であるといえる（図6）。

ヘたにコースとかパワーに神経を使うと、なにぶんにもネット前であるから、振り遅れたりうまくレシーブされたりした場合、自分の頭上を抜かれ、攻めから一転して守りになってしまい、窮地におちいるからである。

原則にこだわりすぎるな

スマッシュは、三者が一体化するのが全くの理想であり、そうするのが、やはり最もよいことではあるが、常に、そればかりにこだわっていると、中途半端なものになってしまうおそれがあるので、指導の人達とよく相談して、自分に最も合理的、かつ効果的なスマッシュをアレンジすべきである。

しかし、絶体的に欠く事の出来ないものは「パワー」である。

初心者はとかく〝開き〟がち

基本のフォームをまず身につけよう

第3章　練習

さて、いよいよ実際的な練習ということになれば、最もよい方法に古い「シャトルあげ」がある。初歩的な段階では、シャトルをあげてやる人も、スマッシュを打つ人も、あらかじめ約束を決めておく。

例えば（図7）の如く、Aへ2本打たせて3本目はBに、あるいは（図8）のようにB点へ2本打って、3本目はA点に…というぐあいに、各々が工夫して、自分達の体にマッチした練習を体得すればよい。

次にもう一つ、留意点をあげておこう。それは、スマッシュを打つ場合のフォームである。

各種大会を見ていて、フォームさえよければ、もっと力が加わり威力を増すのに——と思うことがしばしばである。初心者の中には身体がネットに対して向い合った——いわゆる開いたフォームになる人が多い。これが一番いけない。

なぜならば、これでは思い切って打つことが出来ない。ラケットが自分のヘソまたは、ヒザに当たってしまうからである。

自分の体に当たることを防ぐためには、身体の一部に当たる直前に、ラケットを止めなければならない。これでは、ダッシュしている時に急ブレーキをかけるのと同じである。

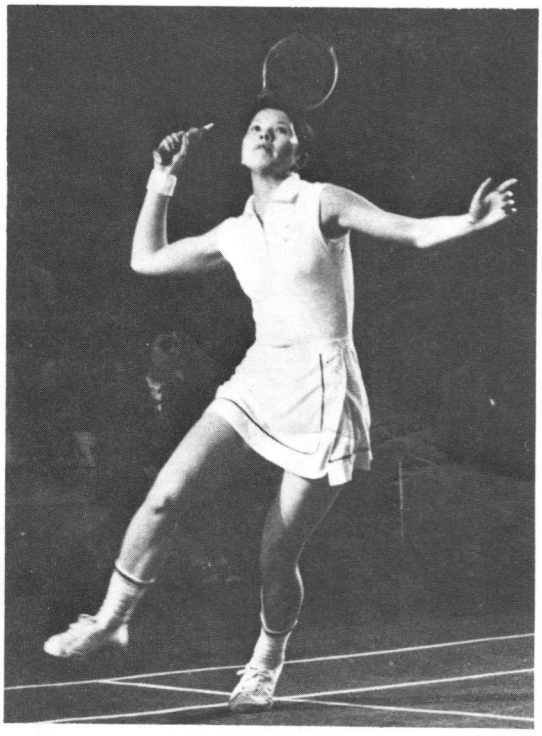
肝心のインパクトの瞬間に力が集中されず、急ブレーキをかける時に集中するのでは、爆発的なスマッシュを打つことは出来ない。

やはり（写真左上）のごとく野球の投手のように横向きになっての上手投げをやらなければならない。

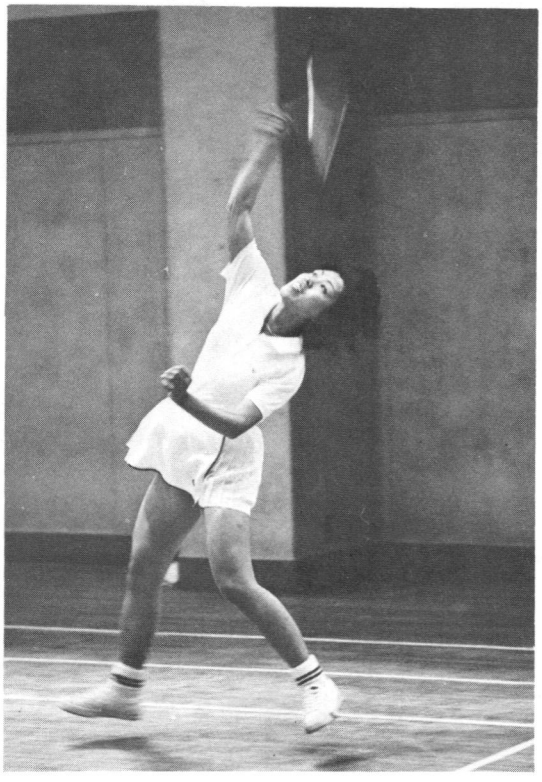
このフォームで打てば、インパクトの瞬間に全力を集中できかつ、ラケットは自然に右から左へ抜く（流す）ことが出来るので最もよいフォームとなる。

そして、利き足は必ず後へ残ることになり、次へのフットワークにも、すぐに処することができ、一石二鳥である。（ネット前のダッシュしてのスマッシュでは、利き足は前）

概して、外人はパンチ力あり、リストが強くリーチが長いのに対し、日本人は小柄な選手が多いのであるから、この壁を破るためにも、最初の基本から、このフォームを忘れないで行なうことである。



▲ネットに対し，横向きに構えていなければ振ったラケットを身体で止めることになり▼このようにインパクトの瞬間に，全身の力を集中できない



小宮淳宏氏が新理事長に

川端前理事長は参与に　日本協会役員大幅改選

日本協会の新理事長に小宮淳宏氏が就任した——日本協会は二月十八日、東京・ホテルグランドパレスで定例の理事会と総会を開き、新年度予算案を審議するとともに、役員改選を行なった。

役員改選（任期二年）では本田会長、森友副会長らが留任したが、国際女子の開催、日中交流問題などでこの世界に新しい局面を開いて功績のあった川端昇市理事長は二期四年で退陣し新理事長には、副理事長の小宮淳宏氏が昇格した。新理事は次記のように決まった。常務理事のうち菊地利明（総務委員長）牧野武（広報委員長兼出版局長）佐藤芳朗（経理担当）五十嵐正信（表彰委員長）の四氏は退陣。また市嶋智三郎常務理事は監事に、相場清一、伊藤基記、毛利清志、岡村英男各常務理事は、理事となった。なお、川端前理事長は参与に推された。（注・役員の詳細は近く紹介）



小宮新理事長の略歴

こみや・あつひろ。昭和四年生れ、43歳。慶応義塾大出、昭和二十九年から日本協会常務理事、指導委員長、総務委員長を歴任。四十四年から副理事長。この間、第4回ユ杯チーム監督として日本に初の王座をもたらしたほか、第八回トト杯（前回）の監督を勤めた。花見煎餅吾妻屋総本店専務。横浜市。

▽会長　本田弘敏

▽副会長　村岡四郎、広田兼敏、森友徳兵衛、松下正寿、栗本義彦、岸田文男

▽理事長　小宮淳宏

▽副理事長　高倉正治

▽常務理事　秋元信一、伊藤鉱一、上原正士、小飼栄一、吹田修一、遠井稔男、内藤安雄、並木万次郎、福田武、石原幸雄、里見光徳

▽理事（会長推薦）相場清一、伊藤基記、今井国夫、榎本彦次、後藤忠弘、菅原幸雄、中島寿禧、中山広明、布引修二、秦浩、増田保夫、松本弘充、毛利清志、穐山正雄、村野浩、岡村英男

▽理事（地方選出）内田正博、（北海道）佐藤健一（東北）高橋重夫（関東）浅岡武（京浜）内多小五郎（北信越）渡辺成雄（東海）青木昭二（近畿）植田博宣（中国）山本邦彦（四国）和田寿（九州）

▽理事（加盟団体）中村和衛市原康夫（学連）池田芳麻（実連）＝教連は里見常務理事

▽監事　市嶋智三郎、加藤三夫

▽顧問　石渡俊一、白山源三郎、松葉徳三郎、山田文雄

▽参与　角田賢三、川端昇市

▽名誉会員　田中荘三郎、森本一雄

秦　浩氏を出版局長に起用

新鋭登場、委員会等職務担当も決まる

理事会成立にともない、各委員会、担当、日本体協出向などの役員職務分担が次のように決まった。新理事には四人の若手が起用されているが、そのうちの一人、秦浩氏は出版局長に就任、広報でも副委員長として両部門で高倉副理事長を補佐、常務理事会にも常時出席する。

【委員会】

▽総務＝委員長・秋元信一、副委員長・小飼栄一、並木万次郎

▽競技＝正・内藤安雄、副・相場清一、中田正彦

▽指導＝正・里見光徳、副・毛利清志

【担当】

▽用具＝正・吹田修一、副・伊藤鉱一

▽審判＝正・伊藤鉱一、副・上原正七、山本洋彦

▽広報＝正・高倉正治、副・秦浩、後藤忠弘

▽財務＝正・福田武、副・石原幸雄、並木万次郎

▽表彰＝正・松本弘充、副・増田保夫

▽競技力向上＝正・遠井稔男副・伊藤基記

▽アマチュア＝正・森友徳兵衛、副・加藤三夫

▽出版局＝正・秦浩、副・後藤忠弘

【出向役員】

▽日本体協評議員＝本田弘敏

▽日本体協各委員＝森友徳兵衛

（注・各委員会委員の顔ぶれについては近く紹介）

前年比1千万円の増
48年度予算ぐっと大型化

48年度の日本協会予算が二月の定例総会で別表のように決まった。細部について、一部から意見も出たが、具体的に問題があれば夏の総会で検討し直すことで了承された。

予算額は一般会計が一千八百八十一万五千円、前年から設置された特別会計が七百万円で計二千五百八十一万五千円。前年度にくらべ合計で一千七十八万一千円の増加（規模拡大）。この増加分だけで、前年度一般会計にほぼ見合う額である。

収入の部では登録人員の増加を見越した登録料が百万円、競技愛好者の増加にともなう用具の売れ行き上昇を見越し、シール売却代、ラケット、ウェア、シューズ等の推薦費収入の増加等が予算拡大の因。

支出面では人件費増（事務局員補充の予定）のほか、中学大会、社会人大会の補助金増額が目立ち、規則書や規定集作成費も確保された。

普及強化を受け持つ特別会計は一般会計からの補助振替がふえて予算も倍増。ナショナル・チーム合宿、新設の高校選抜大会費などに多くを割くことになった。

★一般会計★

【収入の部】（数字は単位千円，△印減）

	予算	前年比
総務収入	4,980	1,000
分担金	1,080	……
登録料	3,900	1,080
補助金	600	……
事業収入	11,075	4,915
シール代	6,385	2,665
審判公認・審査	460	△ 60
指導員公認等	315	235
用具審査費	590	190
用具推薦費	2,925	1,725
印刷物収入	400	160
大会収入	1,250	1,050
雑収入	265	△ 89
繰越金	645	△ 55
計	18,815	6,821

【支出の部】（数字は単位千円，△印減）

	予算	前年比
総務費	10,220	2,395
諸会議費	2,745	570
運営諸費	7,475	1,825
事業費	4,020	1,820
全日本総合大会費	500	250
中学大会補助金	1,000	600
高校大会補助金	150	0
学生大会補助金	150	0
社会人大会補助金	150	50
実業団大会補助金	100	0
教職員大会補助金	100	0
6大会役員派遣費	100	△ 50
諸委員会事業費	1,770	970
雑支出	3,700	1,860
雑支出	700	0
特別会計補助金	3,000	1,860
予備費	875	746
計	18,815	6,821

★特別会計★

【収入の部】

体協競技力補助金	1,600
一般会計補助金	3,000
各種大会収入等	2,000
計	7,000

【支出の部】

海外派遣，合宿，調査費等	3,400
高校合宿，公認指導員費等	1,220
高校選抜大会等	2,200
雑支出	180
計	7,000

高体連が〝20年の歩み〟出版

高体連（全国高等学校体育連盟のバドミントン部が、このほど「高校バドミントン20年の歩み」を出版した。

高校生の〝全日本〟をやろうという話が出たのは昭和二十五年（一九五〇年）の秋。日本バドミントン協会首脳部の協力を得て、高松宮様の賜杯をいただくことになり、二十六年一月、横浜のフライヤージムで記念すべき第一回大会が開かれた。

これは年度としては昭和二十五年度分に当たり、このため、二十六年には八月に再度、新年度分の第二回大会が開かれている。百十ページ余に及ぶ、この本は、以後二十年、六九年の第二十回までの歩みをまとめた。

全記録、歴史、色刷りのプログラム表紙写真、マスコミ（主として新聞）での扱われ方の変遷、表彰者一覧、写真によるラケットの型の移り変わり、などが掲載されており、そのまま、日本バドミントン界の歴史、ともいうべき、貴重な資料であろう。関係者の努力に敬意を表するとともに、これを土台に、二十五年史、三十年史が発展することを期待したい。（編著者・伊沢三郎、編集委員・遠井稔男、里見光徳、新井威）

遠藤は電電北海道、谷口トヨタへ

堀川嬢は郷里の教員　中井ら高校第一線、法大に進学

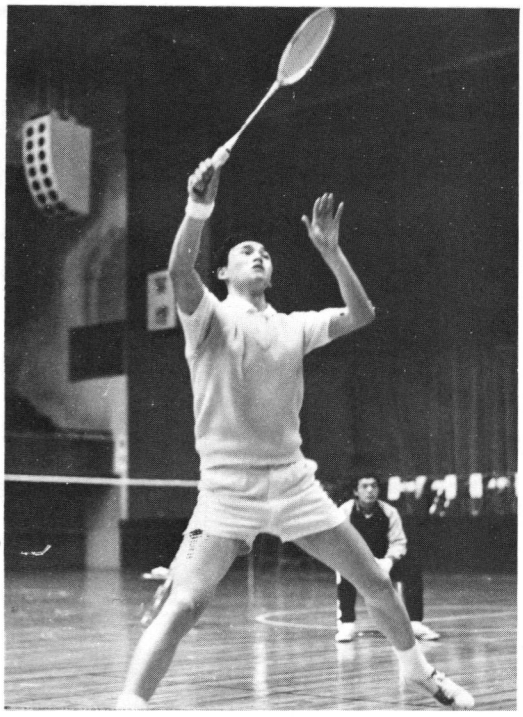
高校、大学選手の進学、就職先

学生球界を巣立って社会人となった選手は、どこへ就職したろうか。インターハイで活躍し未来を期待されたホープは、どこへ進学したか。関東の一部校（大学）を中心に調べてみた。

大学卒業生では、ダブルスの名コンビで鳴らした田所・草島組が別れ別れになり、田所は電電東京へ、草島はサンケイ株式会社（新聞とは関係ない）へ。田所はすでに同僚の渋谷とコンビを組んで活躍している。

シングルスの学生チャンピオン遠藤（日大）は全英選手権を終えて帰国、電電北海道へ。立大の谷口はトヨタ自工へ。早大の実力者・二上は富山県庁（教育委）日体大のNO1今井は群馬県渋川女子高の先生となった。女子の有力卒業生は数少くユ杯の候補だった日体大の堀川は故郷へ帰り、新潟・青陵高へ勤務している。

一方の高校組。インターハイで〝三冠王〟となった中井（奈良・正強）は法大に進んだ。法大にはこのほか辻（添上）原（金沢市工）後藤（岐阜東）工藤（日大山形）と、インターハ



大型選手の谷口は立大からトヨタ自工へ



堀川（左）は青陵高の先生に

各地の表彰

…47年度分…

★横浜市・新春スポーツ人の集い（市体協）功労者　伊沢三郎（協会　）横浜市選手団

★山梨県・高体連優秀選手　杉田洋子（甲府二高）

★富山県・高体連優秀選手　▽団体＝高岡商男子チーム、国体県選抜チーム女子、富山商男子チーム▽個人＝藤木浩、三ノ宮芳和（高岡商）

★奈良県・県スポーツ賞　▽団体＝男子・正強高チーム、国体高校男子選抜チーム、全国中学大会男子国代表チーム▽個人＝中井基夫、南田義正（正強高）

★和歌山県・県スポーツ賞　▽団体＝団体教員チーム▽個人＝門間幹夫（向陽高校）

★金沢市・市スポーツ賞　北方匡、長谷川進（藤花高教）高来秀夫（金沢女短大高教）亀山忠典（金沢大ガン研究所教授）増林博

★長崎県・県スポーツ賞　▽団体＝片淵中男子チーム、長崎大付属中女子チーム▽個人＝中島泰二（大村市役所）横田紀

イで個人、団体の上位を争った選手がずらり顔をそろえた。女子では、やはりインターハイ団体で決勝、ダブルスで準決勝まで進んだ矢口（新庄南）が東女体大に入っている。

大学から社会人へ

【早大】二上敏博→富山県教育委員会、松下高輝→茨城県教育庁、大胡田茂夫→早大数育学部英文科学士入学

【法大】田所光男、浜谷安裕→電電東京、草島正治→サンケイ株式会社

【日大】土田隆→日通商事KK、遠藤好男→電電北海道、涌井保夫→東京トヨペット

【中央大学】丸山法男、浅見初男→スワロー化研

【明大】在原和夫→ヤマザキ製パン

【日体大】今井勇司→渋川女子高校、上田勉→千葉県立京葉高校、北村優明→室蘭工大、金田隆一→小樽桜陽高、宮崎雅秀→青森県立弘前盲学校、川端洋介→日体大専攻科

【日体大女子】堀川栄美子→新潟青陵高校、広沢功子→東海女短大、米満和子→三菱電機熊本支社、吉田一葉→巣鴨女子高秋山晴江→カワサキラケット、藤原貴美子→横浜スポーツ・クラブ

高校から大学へ

【中大】秋葉博（山形工）三ノ宮芳和（高岡商）栗英剛（高松商）

【法大】中井基夫（正強）辻敏夫（添上）原敏夫（金沢市立工）後藤純一（岐阜東）工藤重広（日大山形）

【日大】後藤武信（日大鶴ケ丘）藤木浩（高岡商）小山浩一（富山商）竹内信博（北海）松本育朗（正強）斎藤伸也（新庄北）

【日体大】須藤茂（東奥義塾）栗原恒夫（桐生市商）池田隆治（都立三商）出石勉（境港工）

【青学大】下山謙（弘前）村元英美（弘前南）畑中伸広（新宮）

【早大】丸山秀之（木更津）村上伸夫（盛岡四）岩崎弘（仙台三）千葉仁（佐沼）渡辺秀明（山形東）

【明大】篠崎誠治（京葉）

【日女体大】千葉陽子（平商）大場三弥子（二階堂）村田嘉江（二階堂）

【日体大】高瀬治子（今市）三井敬子（甲府商）松田美恵子（山形・竹田女）寺井恵美子（北海道・岩内）小林雅恵（椙山女学園）深田容子（掛川西）加藤美江子（村山学園東大阪）川崎典子（勝山）武内幸子（竜ケ崎一）吉田喜代子（榛名）

【東女体大】矢口洋子（新庄南）長谷川信江（三条東）東麗子（鹿児島）土肥とし子（上市）長沢広美（真室川）

【青学大】坂本真紀子（滑川）

【早大】小島幸子（船橋）鶴見慶子（新城）

8割が「開催を知っている」

茨城国体会場石岡市のアンケート

来年の茨城国体バドミントン開催地の石岡市は、いま準備に大わらわ。体育館は石岡小学校小体育館（新設）と石岡二高体育館（床を張り替える）の二カ所。小体育館はコート二面、スタンド収容人員六百人。二高体育館はコート六面、観客収容七百人。七月の全日本実業団選手権大会で運営のリハーサルを行なう。

同市も、もともとバドミントンが盛んだったわけではなく、どう普及させようか頭をひねったそうだが「結局は審判の養成が底辺拡大につながった」という。いまではママさん、小中学生の大会も盛んになった。このため、昨年六月、市が行なったアンケート調査でも市民の8割が、自分の市でバドミントンの国体競技が行なわれることを知って関心を寄せている。

対島でもバドミントンを

指導者が長崎市で社会体育の研修

島をあげて社会体育の振興をめざしている対島の指導者たちが、このほど長崎市の状況を視察した。といっても、対象は主として「社会体育に最適のバドミントン」が中心。

まず国際体育館でバドミントンの実技と審判法を学び、翌日も午後からバドミントン実技。

市のご自慢は「地元の審判で運営する」こと。そのため四十六年から養成が始められ、昨年いっぱいで、すでに百五人の三級審判が誕生した。この中には中学三年生（当時）と高校生が三十人も含まれている。

そして最終日も婦人バドミントン教室の運営法。

対島には六カ町村があり比較的、社会体育は盛んだが、バドミントン普及はまだまだ。一行は「今後、全般のスポーツにわたって指導者の質の向上と施設の充実をはかっていきたい」と力強く語っている。

美子（片淵中）野間口直子、橋本喜美子（長崎大付属中）深水祥一、中浦国宏（梅花中）

★宮城県・県協会優秀選手

▽男子＝古川靖宏（東北学院榴岡）阿部賢（東北）八巻一夫、森茂、今野保明（以上育英）田代文士、伊藤洋（以上仙台）岩崎弘、柿沼利彦、正木秀和（以上仙台三）高橋隆雄、大倉進（以上宮城工）千葉仁、門脇宣郎、今野啓、千葉俊之（以上佐沼）阿部二郎、只野健（以上仙台一）藤井良典（大河原）横山伊佐雄、栗野周三（以上古川）山本裕、桜井悦郎（以上塩釜）柴藤昌幸、大伴利夫（以上仙台二）

▽女子　後藤孝子、大友千賀子、鈴木孝子、赤間はるみ（以上聖和）佐藤順子、阿部裕子、渥美たか子、松本弘子（以上塩釜女）舟橋次子、鈴木裕子（以上聖ドミニコ）佐藤美津枝、佐々木さよ子（以上登米）阿部和子、三浦洋子（以上仙台女商）宍戸美由紀、相沢秀子（以上尚絅）佐藤恭子、伊丹敏恵（以上宮城学院）鈴木貴子、大友恭子（以上常盤木）

★鳥取県・県体協スポーツ賞

▽スポーツ奨励賞＝佐々木義政、浅井譲（国鉄後藤工場）

★山形県・県スポーツ優秀賞

遠藤好男（日大、日大山形高出）田所光男（法大、日大山形高出）

日本はアフリカに劣っている

子供の体力　熊本大調査体が研究



豊かである、とはいえない開発途上国のアフリカ。だが、その子供たちの体力は、日本の子供たちの体力より、はるかにすぐれていた。熊本大学学術調査隊が現地におもむいて調べた結果わかったもの。調査隊長の沢田芳男教授（同大学体質医学研究所）は「遊び場も満足にない日本の貧しい環境が、子供の体力作りを阻んでいる」と結論づけている。

×　×　×　×　×　×　×　×

この調査隊が調べたのは西アフリカのガーナ（五歳から三十二歳まで男女約千八百人）とケニア（小中高校生約千七百人）の二カ国。日本から器具を持ち込み、国際標準体力テスト、文部省スポーツテストに準じて調べた。

運動能力の基本的な走る、跳ぶ、投げる、を調べると差がよくわかる。ハンドボール投げでは、男子は十六歳まではケニヤよりよいが、それ以後逆転し、十九歳ではガーナにも追い越されてしまう。十九歳を例にとるとケニヤ31・30㍍、ガーナ29・72㍍、日本28・50㍍だ。

女子に至っては、どの年齢でも日本が一番悪く、年齢が上っていくにつれ、差も開いていく一方。このほか走る（50㍍）などでも日本人が劣っており、調査対象の最高年齢である十九歳に近づくとともに成績の伸びがにぶり、アフリカに引き離されていく。

どうして、こんな差が生れるのか。沢田教授らが指摘するのは生活環境、とくに遊び場だ。アフリカの子供たちの周囲は自然林や草原が多く、広くて変化に富んでいる。スポーツ施設といえるほどのものは、都会地の一部以外は貧弱だが、広さは日本の五倍も十倍もある。

「遊び場もなく、外へ出れば交通戦争とスモッグ。遊びの空間は完全に奪われて、家の中でテレビばかり見ているのだからこうなるのは当然。これがアフリカよりすぐれた文明というなら、文明とは一体なんだろう」と沢田教授は嘆いている。

（北海道新聞）

ゴルフ場建設よりバドミントン

…朝日新聞投書欄から…

ゴルフのカントリークラブは関東地方だけでも七十もあるといわれ、外人すらも驚いているほどであるにもかかわらず、さらに新設許可の申請が出ていると聞く。

これに反し大衆向きのスポーツセンターは極めて貧弱である。ボウリング場は急激にふえたがこれは高価につき、大衆向きとはいえない。もっと安価で出来るスポーツ、すなわち温水プール、柔剣道、空手などの町道場、ピンポン競技場、庭球、バドミントンクラブなど庶民が楽しめるスポーツセンターの増設が望ましい。

スポーツの盛衰は即国家の盛衰につながるものであるゆえに政府、自治体が適当な手段を講ぜられんことを切望する次第である。これがマージャンのような不健康な娯楽を減らすこととともなれば、まさに一石二鳥である。（横浜市・渡辺登、大学教授76歳）

山田真市氏のバドミントン写真展

東京・西武百貨店で

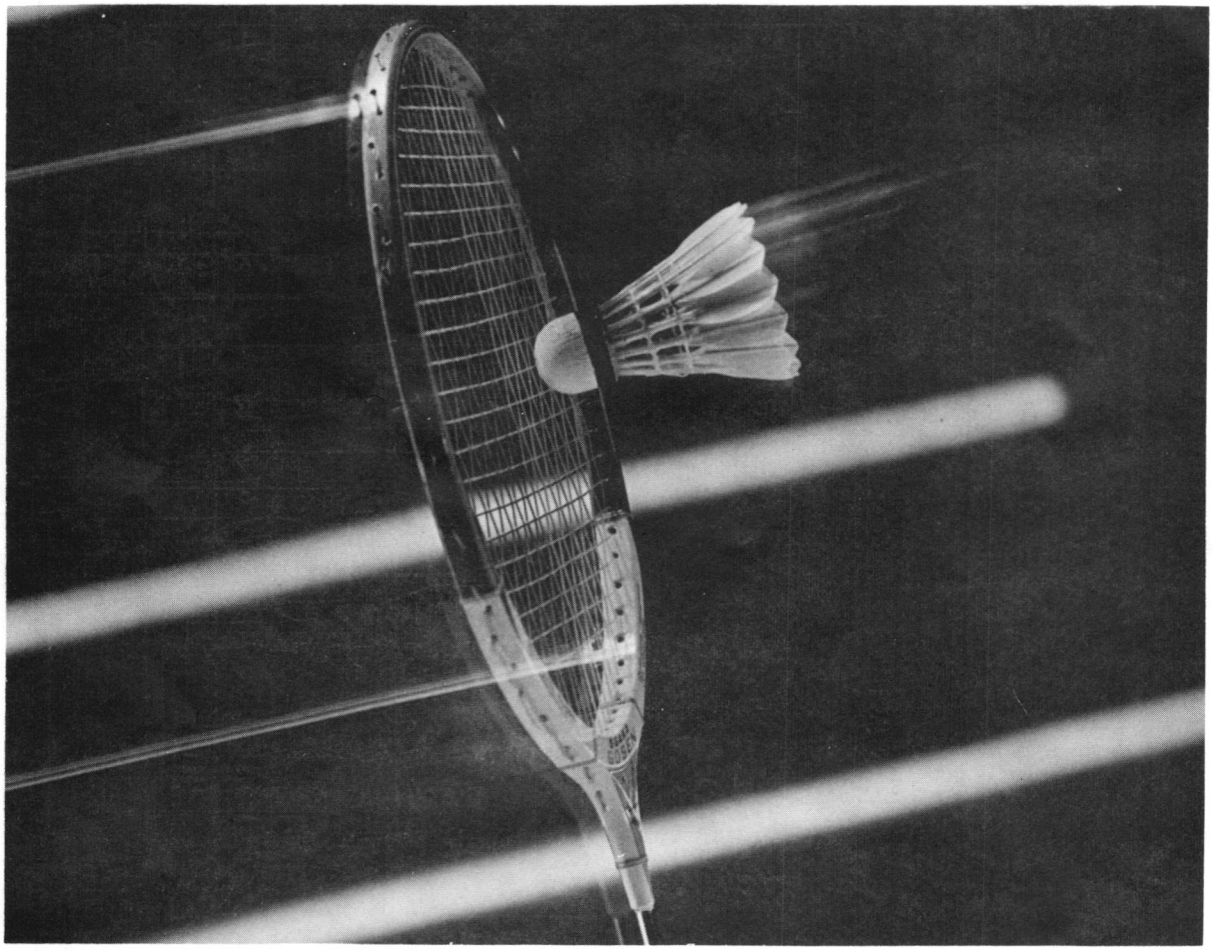
本誌のバドミントン写真でおなじみの山田真市氏の写真展がさる三月中旬、東京・渋谷の西武百貨店で開かれた。題して第一回バドミントン写真展（東京12チャンネル・テレビ主催）。

だれでも気軽に入門でき、しかも最近ちょっとしたブームになっているこの競技を、さらに普及しようということで、用品類フェアの一環。日本で行なわれた二度のユ杯、国際女子、チャンピオンズトーナメント、全日本総合などの名写真約50点（カラーと白黒の二種類）が全紙大のパネル張りで展示され、スポーツコーナーを訪れた人々の足を止めた。このほか古いラケット、ビデオテープ、カップなども展示され、関心を集めた。

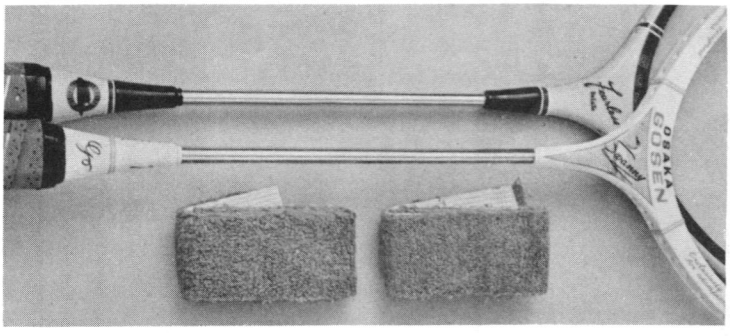
▲山田氏のバドミントン写真展

《新発売》

Swannv



この確かなバイブレーション。
それはスワニー。



特殊合板の力強いフレームに、従来のものより長いステンレス・シャフトの強靭性が強力なバイブレーションを生み、重さも122g以下と今までより軽くなり、それがスピードとパワーの素晴しいバランスを構成し、ふりもシャープな一級品ラケットをつくりました。

No.β スワニー≪フレーム・カバー付≫ ¥3,800

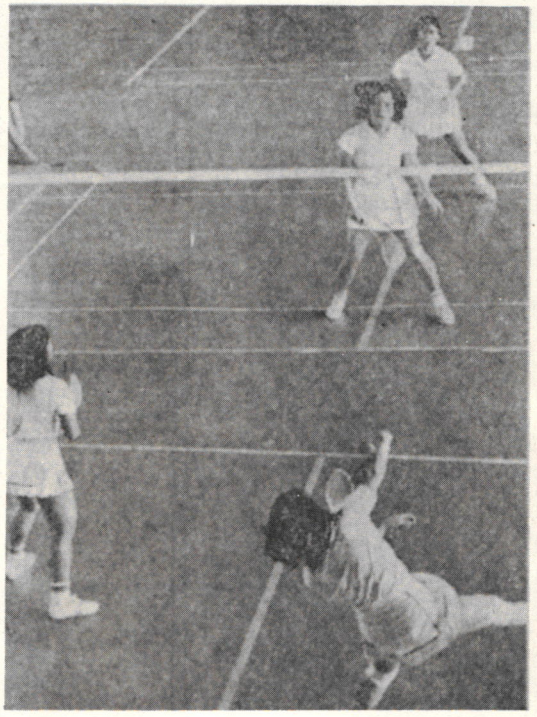
☆お買い上げになりますとタオルグリップがついています。

大阪合繊株式会社
本　社・大阪市東区豊後町4 ☎(06)942-5816 代
東京営業所・東京都台東区鳥越1-26-1 ☎(03)862-6576 代

斎藤(せ)が輝く女子三冠王

男子単は金原が8度目

＝岩手県総合選手権大会＝



岩手県

◆47年度県総合選手権大会
（2月3、4日＝盛岡市県営体育館）

◇男子シングルス

▽準々決勝 金原（北上市）2－0佐藤（江刺市）、佐々木邦（大槌高教）2－0菊池（花巻農高）、佐々木彦（千厩高教）2－0佐々木忠（盛岡市）、鬼柳（北市市）2－0高田（盛岡一岡）

▽準決勝

金原 15－5, 4－15, 15－8 佐々木邦

鬼柳 15－13, 17－16 佐々木彦

▽決勝

金原 15－3, 15－11 鬼柳

金原は2連勝8度目の優勝

◇男子ダブルス

▽準決勝 金原・鬼柳（北上市）2－0小原・佐藤（花巻市）
佐々木邦・佐々木彦（大槌高教、千厩高教）2－0戸田・畠山（花巻市）

▽決勝

佐々木邦・佐々木彦 15－9, 15－10 金原・鬼柳

佐々木組は3連勝3度目の優勝

◇女子シングルス

▽準々決勝 斎藤せ（東磐井郡）2－0米倉（千厩高）、高高（専大北上高）2－0斎藤洋（千厩高）、小笠原（北上市）2－0小野寺（千厩高）、宮本（盛岡市）2－0対島（千厩高）

▽準決勝

斎藤せ 11－3, 11－1 高橋

宮本 11－0, 11－2 小笠原

▽決勝

斎藤せ 11－5, 11－0 宮本

斎藤は2連勝3度目の優勝

◇女子ダブルス

▽準決勝 小笠原・高橋（北上市）2－1阿部・佐々木（盛岡市高）、斎藤せ、斎藤洋（東磐井郡）2－0米倉・小野寺（千厩高）

▽決勝

斎藤せ 15－3, 11－1 永沢

斎藤洋 15－11, 15－9 高橋

斎藤組は初優勝

◇混合ダブルス

▽準決勝 永沢・斎藤せ（東磐井郡）2－0鬼柳・小笠原（北上市）、白沢・宮本（盛岡）2－1佐藤・高根沢（北上市）

▽決勝

永沢 15－3, 15－8 白沢

斎藤せ 宮本

永沢・斎藤組は初優勝

◆全国中学生大会県予選（2月4日＝盛岡市県営体育館）

◇男子 **▽一回戦**

大迫 2－1 花巻

雫石 3－0 江刺一

▽準決勝

大迫 2－1 花泉北

川崎 2－1 雫石

▽決勝

川崎 2－0 大迫

○佐藤 15－3, 15－5 瀬川 金今 中島

○菅原 15－10, 15－7 佐々木

◇女子 **▽一回戦**

川崎 2－1 江刺一

雫石 2－1 厨川

石鳥谷 3－0 城西

山目 3－0 花巻

雫石 2－1 川崎

石鳥谷 2－1 山目

▽決勝

石鳥谷 2－0 雫石

○高橋 15－10, 15－5 杉田 高橋 米沢

○小西 11－8, 12－10 熊谷

長野県

◆第18回南信総合選手権大会
（2月4日＝岡谷市小井川小学校体育館）

◇男子シングルス **▽準決勝**

福永（セイコー）2－0小田原（伊那北高）、小口弘（セイコー）キケン 小口忠（マルヤス）

▽決勝

小口弘 15－3, 7－15, 15－8 福永

◇男子ダブルス **▽準決勝** 若林・小田原（伊那北高）2－0清水・長谷川（岡谷南高）、福永・塩川（セイコー）2－0酒井・北原（天竜）

▽決勝

若林 12－9, 11－3 福永 小田原 塩川

◇女子シングルス **▽準決勝**

今井（諏訪二葉高）2－0吉沢（セイコー）、小泉（諏訪二葉高）2－1原田（諏訪二葉高）

▽決勝

今井 6－11
11－1
11－5 小泉

◇女子ダブルス ▽準決勝 今井・小泉（諏訪二葉高）2－0吉沢・熊谷（セイコー）、原田・宮地（諏訪二葉高）2－0仲本・増沢（諏訪二葉高）

▽決勝

今井 12－10 原田
小泉 11－6 宮坂

山梨県

◆県ダブルス選手権大会（1月21日＝甲府二高体育館）

▽A級男子決勝

秋山 15－5 新津
窪田 15－7 平田
（甲府市） （商門）

▽B級男子決勝

石原 15－6 川崎
米倉 15－5 樫山
（甲府商） （巨摩）

▽C級男子決勝

保坂 15－3 望月
山本 15－10 樫山
（CYBC） （甲府一）

▽A級女子決勝

市村 11－15
当摩 15－6
望月 15－9
（東女体大） （CYBC）

▽B級女子決勝

坂本 15－8 松岡
天野 15－7 名取
（甲府二） （甲府商）

▽B級女子決勝

福沢 15－3 山田
戸田 15－7 雨宮
（湯田） （湯田）

◆48年度高校学年別選手権大会（2月18日＝甲府商体育館）

◇男子シングルス

▽1年決勝

長谷川 2－1 下里
（巨摩） （機山高）

▽2年決勝

石原 2－0 米倉
（甲府商） （甲府商）

◇男子ダブルス

▽1年決勝

長谷川・河野 2－0 石川・長谷川（甲府工）
長谷川・河野（巨摩） 石川・長谷川（甲府工）

▽2年決勝

石原・米倉 2－1 平田・渡辺
（甲府商） （甲府商）

◇女子シングルス

▽1年決勝

落合 2－0 五味
（湯田） （湯田）

▽2年決勝

天野 2－0 坂本
（甲府二） （甲府二）

◇女子ダブルス

▽1年決勝

落合・五味 2－0 山田・雨宮
（湯田） （湯田）

▽2年決勝

坂本・天野 2－0 江原・駒井
（甲府二） （甲府二）

京都府

◆府総合団体選手権大会（2月25日＝立命大体育館）

◇男子 ▽3位決定戦

YMCA 3－0 京都商ク

▽決勝

立命大3 複2－0
単1－0 0同大

◇女子 ▽決勝

成安ク2 複1－0
単1－0 0桂ク

福井県

◆県総合選手権大会（2月25日＝勝山市合同体育館）

◇男子シングルス ▽準決勝

寺崎（敦賀市役所） 2－1 水上（福井銀行）、山本（福井市役所）2－0長谷川（勝山高）

▽決勝

寺崎 2－0 山本

◇男子ダブルス

▽決勝

原・寺崎 2－1 梶谷・府岡
（敦賀） （福井銀行）

◇男子30歳シングルス

▽決勝

鶴野 2－0 小原
（敦賀） （福井）

◇女子シングルス ▽準決勝

六野（勝山精華）2－0岡崎（福井銀行）、角谷（福井銀行）2－0竹内（福井市役所）

▽決勝

角谷 2－1 六野

山口県

◆第7回県総合大会（1月21日＝下関市体育館）

◇男子シングルス ①松田仁（三菱重工）②坂本賢二（宇部窒素）

◇男子ダブルス ①河添忠夫、坂本賢二（宇部窒素）②三井裕嘉村悦男（山口ク）

◇女子シングルス ①古賀洋子（南商ク）②永田美登里（日本生命）

◇女子ダブルス ①西村和美、永田美登利（下関市役所、日本生命）②中村ひずる、渡辺悦子（緑ケ丘ク）

◇混合ダブルス ①松田仁、永田美登利（三菱重工、日本生命）②嘉村悦男、藤山房子（山口ク）

◇壮年シングルス ①安田正敏（日立）②野口健二（同）

◇壮年ダブルス ①安田正敏、野口健二（日立）②山本坤人、金子隼人（山陽パルプ）

和歌山県

◆47年度県総合選手権大会（1月28日＝丸善石油体育館）

◇一般男子シングルス

▽一部決勝

川村 2－1 宇治
（住金） （住金）

▽二部決勝

山本 2－0 宮本
（大日本電線） （丸善石油）

◇一般男子シングルス

▽一部決勝

森・佐藤 2－1 穂谷・楠戸
（教員ク） （丸善石油）

▽二部決勝

前田・成瀬 2－0 桝本・西本
（那賀ク） （御坊商工）

◇一般女子シングルス ▽決勝

湯川 2－0 堀
（住金） （住金）

◇一般女子ダブルス ▽決勝

堀・湯川 2－0 加藤・出口
（住金） （御坊商工）

鳥取県

◆第4回県総合選手権大会（1月28日＝鳥取市立体育館）

◇男子団体 ▽一回戦 鳥取クA3－0動燃ク、境港工高A3－1鳥取大B、鳥取大A3－0国鉄後藤、倉吉西高3－0鳥取西高A、鳥取教員3－2倉吉東高、境港工高C3－1鳥取クB

▽二回戦 鳥取クA3－1日パ米子、境港工高A3－1倉羽ク、鳥取大A3－0倉吉西高鳥取教員3－2境港工高C

▽準決勝 鳥取クA3－1境港工高、鳥取大A3－1鳥取教員

▽決勝

鳥取大A 3－2 鳥取クA

横山 15-13 山根
○栗原 15-7 森下

仙田 15-8 宮本
竹中 4-15 ○中山
11-15

仙田 15-6 中山
○仙田 18-17 中山

横山 7-15 山根
9-15 ○

○栗原 15-8 宮本
18-17

◇女子団体 ▽一回戦 倉羽ク3－1鳥取西高A、倉吉西高3－0鳥取大A

▽準決勝 鳥取ク3－2倉羽ク、倉吉西高3－0鳥取東高A

▽決 勝

鳥取ク 3-0 倉吉西高

○高地 15-2 松尾
三島 15-2 氷川

○石破 15-7 伊藤
山下 15-7 蔀

○高地 13-9 11-5 松尾

沖縄県

◆第10回稲福杯争奪総合大会（2月25日＝那覇高体育館）

◇女子A組 ▽準決勝 那覇商A2－0那覇商C、那覇商OG2－0那覇商B

▽決 勝

那覇商A 2-0 那商OG

○屋嘉比 15-7 下地
備瀬 15-13 儀保

○屋嘉比 11-5 11-15 12-10 下地

◇女子B組 ▽準決勝 那覇商A2－0首里A、琉球大B2－1知念高

▽決 勝

那覇商A 2-1 琉球大B

金城 7-11 2-11 宮里○
○宮里 15-9 15-11 真喜志

○宮里 11-0 11-3 真喜志

◇男子A組 ▽準決勝 沖縄大2－0那覇商B、沖縄信販2－1那覇商OB

▽決 勝

沖縄大 2-0 沖縄信販

○比嘉 15-1 15-9 仲本
比嘉 15-7 15-9 宮井
○宣志富

◇男子B組 ▽準決勝 琉球大B2－0沖縄高、糸高職2－0琉球大A

▽決 勝

糸高職 2-0 琉球大A

石川 15-7 15-5 瀬長
○仲村 15-2 15-8 宮城
石川 津嘉山

愛媛県

◆第11回四国実業団選手権大会（2月10、11日＝松山市愛媛大体育館）

◇男子団体一部 ▽1回戦 住化菊本3－1住化大江、クラレ西条3－1愛媛大、丸善石油3－0住化新居浜

▽準決勝 高松市役所3－1住化菊本、丸善石油3－1クラレ西条

▽決 勝

丸善石油 3-0 高松市役所

竹内 2-15 阿部○
藤田 11-15 岡崎

○浜中 15-7 横岡
永井 15-4 田中

○永井 15-2 15-7 岡崎

○竹内 15-0 15-0 阿部

◇男子二部 ▽1回戦 阿波銀行3－0国鉄多度津、住友ノーガタック3－2川重坂出

▽準決勝 クラレ西条B3－0阿波銀行、香川県庁3－2住友ノーガタック

▽決 勝

クラレ西条B 3-1 香川県庁

◇女子団体 ▽1回戦 百十四銀行C2－0愛媛大、阿波銀行2－0香川県庁

▽準決勝 百十四銀行A2－0百十四銀行C、百十四銀行B2－0阿波銀行

▽決 勝

百十四銀A 2-0 百十四銀B

◇男子ダブルス

▽準決勝

阿部 岡崎 15-6 吉上
（高松市役所） 15-8 小橋（クラレ）

片上 秋山 15-2 浜中
（住化菊本） 15-3 藤田（丸善石油）

▽決 勝

阿部 岡崎 15-10 15-11 片上 秋山

◇男子シングルス

▽準決勝

永井（丸善石油） 18-13 15-12 阿部（高松市役所）

片上（住化菊本） 15-11 15-9 浜中（丸善石油）

▽決 勝

永井 15-1 15-9 片上

◇女子ダブルス

▽決 勝

森 川東（百十四銀） 15-5 11-15 15-7 石井 高国（百十四銀）

◇女子シングルス

▽準決勝

森（百十四銀） 11-3 11-4 高国（百十四銀）

川東（百十四銀） 11-3 11-1 石井（百十四銀）

▽決 勝

川東 11-3 11-1 森

徳島県

◆第19回県クラブ対抗大会（1月21日＝八万中体育館）

◇男子 ▽準決勝 薬品会4－1阿波銀行、小松島西3－2徳島大

▽決 勝

薬品会 3-2 小松島西

○山下・安井2－1松原・吉本
○田主・中村2－1小浜・前島
安井 0-2 吉本○
○山下 2-1 小浜
中村 0-2 松原○

◇女子 ▽準決勝 阿波銀行2－1徳島大A、徳島大B3－0八万中

▽決 勝

阿波銀行 2-0 徳島大B

○元木・淡井2－0北本・井内
○元木 2-1 北本

◆47年度県中学新人戦（2月4日＝徳島市体育館）

◇男子シングルス

▽1年決勝

浦口 11-8 森
（日和佐） 11-8 （徳島）

▽2年決勝

森（八万） 11-4 11-12 11-2 吉兼（日和佐）

◇男子ダブルス

▽1年決勝

戎野 浦口（日和佐） 13-10 11-3 笠井 吉成（八万）

▽2年決勝
森 11-5 吉兼
山口 11-6 多田
（八万）（日和佐）

◇女子シングルス
▽1年決勝
増金 11-7 井口
（城東）（日和佐）

▽2年決勝
11-9
灘 11-3 寺上
（日和佐）（日和佐）

◇女子ダブルス
▽1年決勝
井口 1-11 豊崎
福島 11-3 中島
（日和佐）（日和佐）

▽2年決勝
長井 1-11 寺上
灘 13-10 正木
（日和佐）（日和佐）

◆第7回県高校新人大会（1月21日＝小松島高）

◇男子シングルス
▽決勝
吉兼 15-8 杉本
（日和佐）（徳島商）

◇女子シングルス
▽決勝
西崎 11-3 永井
（小松島西）（日和佐）

高知県

◆県中学、高校新人戦（2月3、4日＝高知市県民ホール）

【高校男子】

▽シングルス決勝
島本 15-4 小村
（土佐）15-18 （土佐）
15-9

▽ダブルス決勝
島本 15-9 松田
小村 15-9 橋本
（土佐）（学芸）

【高校女子】

▽シングルス決勝
楠瀬 4-11 川添
（土佐女）11-2 （土佐女）
11-5

▽ダブルス決勝
楠瀬 15-12 森川
川添 15-7 島
（土佐女）（土佐女）

【中学男子】

▽シングルス決勝
宮地 15-5 公文
伊藤 15-12 伊藤
（土佐）（土佐）
15-13

▽ダブルス決勝
宮地 15-5 公文
伊藤 15-5 大山
（土佐）（潮江）

【中学女子】

▽シングルス決勝
山本 12-9 岡田
（土佐女）11-5 （土佐女）

▽ダブルス決勝
山本 11-5 市原
岡田 11-4 松原
（土佐女）（土佐女）

石川県

◆県高校新人大会団体戦（2月3、4日＝金沢市県体育館）

◇男子
▽準決勝
金沢市工 3-1 七尾商
七尾工 3-2 七尾

▽決勝
金沢市工3-0七尾工
○木下・小中2-0田上・沢
○寺田・宮崎2-1村岡・池田
○小 中2-1田 上

◇女子
▽準決勝
津幡 3-0 金城
二水 3-2 藤花

▽決勝
津幡3-0二水
○田丸・森田2-0坂本・井上
○山崎・横山2-0山崎・角谷
○田 丸2-1井 上

神奈川県

◆県高校新人大会（1月21日＝平塚市見付台体育館）

【男子シングルス決勝】
▽一年Aゾーン
小林 11-2 兼子
（開成）11-6 （希望ケ丘）

▽一年Bゾーン
小山 11-4 根岸
（開成）11-5 （一商）

▽一年Cゾーン
児玉 11-6 佐藤
（神奈川工）11-4 （向岡工）

▽一年Dゾーン
長島 不戦勝
（県川崎）

▽一年Eゾーン
竹山 11-2 上原
（関東学院）11-6 （縁ケ丘）

▽一年Fゾーン
若林 11-7 北山
（関東学院）11-8 （立野）

▽二年Aゾーン
宮崎 11-4 小島
（鶴見工）11-8 （川和）

▽二年Bゾーン
永沼 11-7 小瀬
（慶応）7-11 （小田原）
11-5

▽二年Cゾーン
宮崎 11-4 池原
（多摩）11-3 （望光）

【女子シングルス決勝】
▽一年Aゾーン
三浦 11-2 松本
（県川崎工）11-6 （横須賀商）

▽一年Bゾーン
産形 11-8 兼子
（緑ケ丘学）11-3 （神奈川学）

▽一年Cゾーン
藤原 12-10 荏原
（捜真）11-7 （神奈川学）

▽一年Dゾーン
小宮 11-5 鈴木
（富士見丘）11-6 （県商工）

▽一年Eゾーン
吉田 11-3 田中
（東）11-1 （追浜）

▽一年Fゾーン
山下 10-12 渡辺
（生田）11-3 （新城）
11-7

▽二年Aゾーン
市原 11-7 野崎
（立野）11-6 （新城）

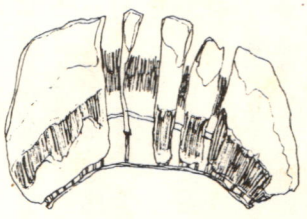
▽二年Bゾーン
石田 11-8 金子
（立野）11-6 （港商業）

▽二年Cゾーン
北見 2-11 木川
（横浜高）11-8 （富士見丘）
11-2

▽二年Dゾーン
鷲沢 11-8 上田
（立野）11-6 （富士見丘）

▽二年Eゾーン
藤井 11-5 杉山
（平塚商）11-2 （城東）

▽二年Fゾーン
露木 11-5 鈴木
（平塚商）11-3 （城東）



今月のことば

居候（いそうろう）というのが、世の中で一番いけない存在だと思いますよ。チームの中でも居候というのが一番チームワークを乱すものなんですが、社会でも、いてもいなくてもというヤツが一番いけないんじゃないでしょうかね。——松平康隆連載対談・バレーボール誌から

この話の前後には、次のような一節がついている。すなわち「だれにも真似のできないモノを持てば、それがチーム力なんですよ…だれにも負けない特技を持っている人は理想と誇りに満ちてます。私は、選手たちに誇りと自信を持たせるのが監督やコーチの責任だと思います」

この前後の部分、意見を述べているのは〝常識のウソ〟で有名な医事評論家・石垣純二氏。

まず一芸にひいでよう

〝いてもいなくても〟はチームワーク乱すもと

二人のやりとりは、いかにしたら、いい選手、いいチームができるか、について展開しており、結論は「可もなし不可もなし、いてもいなくても、という選手なら、いることがむしろマイナスであり、どんな選手でも、一芸一能の持ち主になるべきだ」ということであった。

かなり手厳しい表現だが、私たちも、時には、こうした点を、よく考えてみる必要がありそうだ。

残念なことに、人間は本来、怠けものにできている。できるだけ楽をしたい、と思っているやっかいな存在だ。それだからこそ、大部分の人も「まあまあ」の線で、なんとかグループの一員から落ちないですみ、少し努力した人が上に出られるのである。

もとより、人間は万能ではあり得ない。だが、どんな人でも「ほかのことはダメでも、これだけは人に負けない」ということぐらいは、努力しだいでできるはずではないか。

一年前のユ杯を思い出してみよう。日本のトップ・バッターとして、デンマーク戦でカガード夫人と対戦、みごと先制の白星をもたらした高坂薫さん（現新潟県協会広報副委員長）は、〝落ちるタマ〟の特技を買われて起用された。打たれ強い、という面もあったが、本来、手首が十分きいていないため、攻撃して強い選手ではなく、全日本でもベスト4のカベを破ることができなかったが〝カットの高坂さん〟として有名だった。

ト杯代表となった池田信孝君もシングルスでは決して一流ではないが、ダブルスの前陣プレーは天下一品の力を持っていてメンバーに加えられた。

バドミントンもチームでプレーすることが多い。当然、レギュラーと補欠が出てくる。だが補欠が〝小型のレギュラー〟や〝レギュラーより全てに力が劣るもの〟だったら、よほどのことでもない限り、試合に使ってもらえないだろう。野球にピンチヒッター、ピンチランナー、救援投手のいるごとく、まず何か一つ取り得がほしい。もちろん、一芸だけに終るのではなく、それを万能の出発点とするつもりで、の話である。

次号では中国問題を特集します。ことし一月、川端前理事長と菊地前総務委員長が訪中、いわゆる会談紀要に調印、両国間の競技交流が正式に成立しました。これにもとづき、九月には中国から男女ナショナル・チームが来日して各地で史上初めての盛大な親善試合が行なわれ、日本バドミントン史の上に、画期的なページを刻みます。

すでに試合予定地も決まりました。次号では訪中前後の詳報、会談紀要の全文をはじめ、中国バドミントン界をめぐる動き、中国スポーツ界を取り巻く国際関係、その他、中国あれこれ早わかりなどを多角的に網羅してお届けします。

また、さきごろ東京では、これも史上初めて、実業団と学生男女の対抗戦が行なわれ、一線級選手の技術交流、向上に新しい方式を演出しました。多彩なグラフ写真とともに、誌面の一角を飾ります。

中国問題特集

……次号予告……

編集室

○…非公式の世界選手権といわれる全英選手権。その成績、記録は誌上でいくらも伝えられるが、行くのが選手たちばかりでは、試合の写真がなかなかとれない。が、今回ようやくフォート・キシモトのスタッフが渡英出張した折りに、撮影してもらうことができた。短い時間の仕事であり、必ずしも満足ではないが、まずは誌上を飾ることができ、ほっとひと息。

【バドミントン界】第42号
昭和47年3月25日　印刷
昭和48年4月1日　発行
発行所　東京都渋谷区神南一の一の一　岸記念体育館内　日本バドミントン協会
電話　四六七・三一一一（内線二一五一）
郵便番号・一五〇
振替口座・東京三二一九三
印刷所　東京都豊島区南大塚二一二九　明宏印刷株式会社
編集兼発行人　川端昇市
定価　一部　百三十円

©無断転載を禁ず



DISCOVER EUROPE

——欧州遠征スナップから——





Copenhagen *Tokyo*

London *Paris* *Rome*













脱公害，青空に満足してます

★美しい英語？　皆楽しくやっています。　本間

★英語しゃべらずとも、なんとかすごすコペンハーゲン　今泉

★英語がぜんぜんわからない。　遠藤

★英語をもっと勉強していればよかったです。　銭谷

★出発前はいろいろと有難うございました。どうにかこうにかやっております。試合の方も頑張ります。　YUKI

★初めてのヨーロッパは何もかも私にとって興味があります。　西尾

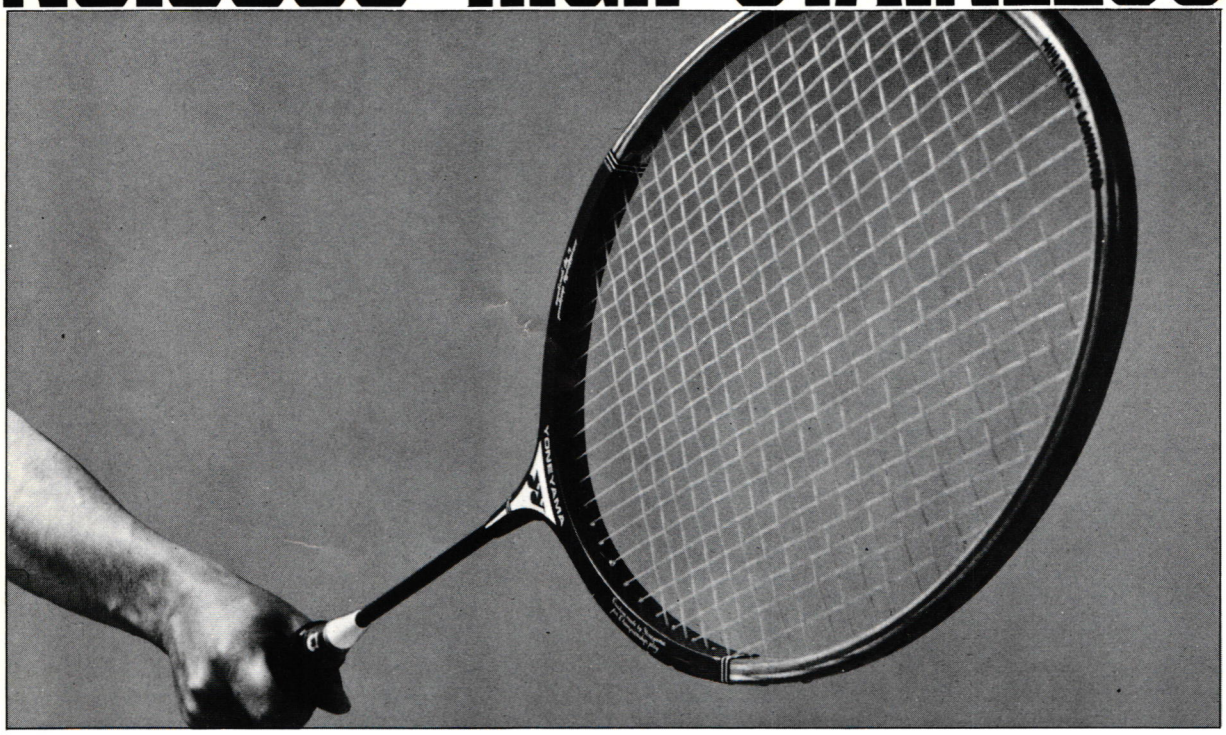
★コペンへ来るたびに東京の騒々しさがいやになります。　MACHIKO

★食欲相変らず、青空に満足八名バカさでハッスル、まずはチョーセイ（馬の名前ではありません）。　竹中

…コペンハーゲンからの第一報…



No.9000 HIGH STAINLESS



未知のちからを隠しもつ

ステンレスのシャフト

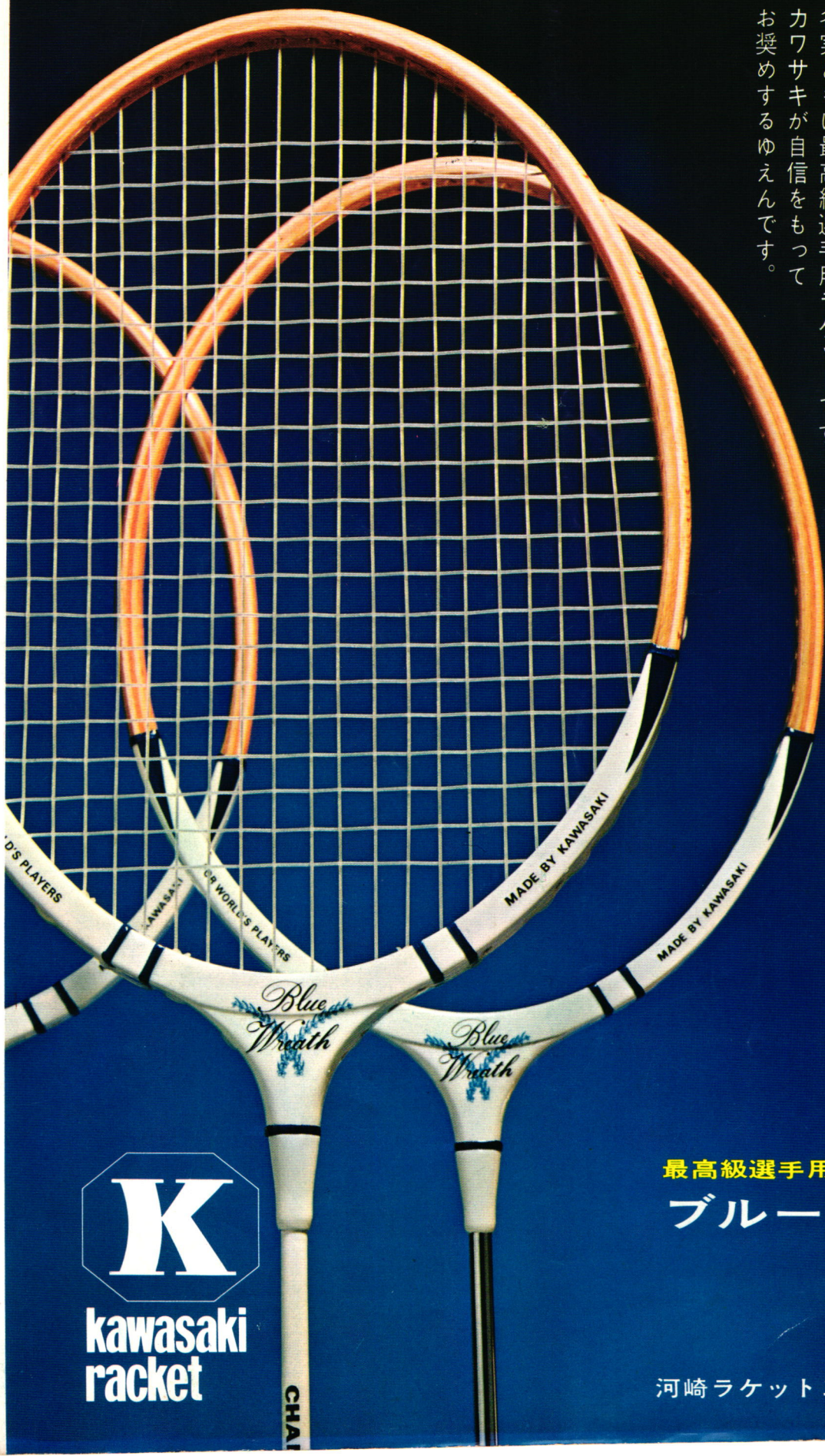
しぶとい弾力。まったく鋭い切れ味。瞬間に炸裂する攻撃力。いままでのバドミントンラケットでは、とても出せなかった鮮烈なパワーです。シャフトにステンレスの特性を生かしきってありますから、難度の高いテクニックも思いのまま。これぞ、バドミントンを科学するヨネヤマの、新しい自信作です。その名をハイステンレス。その真価は、世界に点在する一流プレイヤーたちに問いたい。

No.9000ハイステンレス/¥3,800(フレームのみ)

ヨネヤマラケット

向かうところ敵なし——!!

世界を相手に活躍するブルーリース。カワサキの技術が開発した、ロングシャフトで先軽のバランスがベストセラーの秘密です。世界中のトッププレイヤーに信頼される名実ともに最高級選手用ラケットです。カワサキが自信をもってお奨めするゆえんです。



K

kawasaki racket

最高級選手用

ブルーリース

No.B-69

河崎ラケット工業株式会社